



Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、 7925G-EX、7926G ユーザ ガイド

**Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and
7926G User Guide**

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ
デートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合があ
りますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

一般的な電話の操作

コールを発信する	番号をダイヤルして、  を押します。
コールに応答する	 、[応答 (Answer)]、または  を押します。
切断	 または [終了 (EndCall)] を押します。
コールを保留 / 復帰する	[保留 (Hold)] または [復帰 (Resume)] を押します。
コールを新しい番号に転送する	[オプション (Options)] > [転送 (Trnsfer)] を選択し、転送先番号を入力してから、[オプション (Options)] > [転送 (Trnsfer)] を再度押します。
番号をリダイヤルする	 を 2 回押すか、[オプション (Options)] > [リダイヤル (Redial)] を選択します。
内線を転送する	[オプション (Options)] > [不在 (CFwdAll)] を選択します。すべてのコールの転送先とする番号を入力します。キャンセルするには、[オプション (Options)] > [不在 (CFwdAll)] を選択します。
履歴を使用する	[ディレクトリ (Directory)] (本) > [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。ダイヤルするには、リストにスクロールして [ダイアル (Dial)] または  を押します。
電話帳にアクセスする	[電話帳 (Ph Book)] を押すか、[ディレクトリ (Directory)] > [電話帳 (Phone Book)] を選択します。



Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

© 2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.



クイック リファレンス



Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、7926G クイック リファレンス

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Quick Reference

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

「電話機の使用」

「ショートカット キーとボタン」

「ソフトキーの機能」

「テキストの入力」

「電話スクリーンのアイコン」

「一般的な電話の操作」

電話機の使用

電話機の電源をオン / オフする	電話機の電源がオンまたはオフになるまで  を押し続けます。
電話機能へアクセスする	[オプション (Options)] を押して機能リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 機能の番号キーを押すか、または 機能までスクロールして、 を押します。
メインメニュー オプションへアクセスする	ナビゲーション矢印を押して以下を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ディレクトリメニュー (本) 回線表示 (電話機) 設定メニュー (ツール) サービスメニュー (ワールド) メニュー オプションの番号キーを押します。
表示の明るさを調整する	[設定 (Settings)] > [電話の設定 (Phone Settings)] > [画面設定 (Display Settings)] を選択し、[画面の明るさ (Display Brightness)] を選択します。▲ または ▼ を押してから、[保存 (Save)] を押します。
回線表示からメイン画面へ移動する	◀ を押します (左矢印)。

ショートカット キーとボタン

呼出を振動または音に切り替える	 を押し続けます。
呼出音、ハンドセット、またはスピーカーのボリュームを調整する	 を上下に押します。
電話機のミュートを有効または無効にする	 を押して切り替えます。
スピーカーまたはハンドセットをオンする	 を押し続けます。ハンドセットを使用するには、ボタンを再度押し続けます。

ボイスメッセージにアクセスする	 を押し続けます。
キーパッドをロック/ロック解除する	ロックするには、  を押し続けます。 ロックを解除するには、[解除 (Unlock)] および [OK] を押します。

ソフトキーの機能

短縮 (AbbrDial)	スピードダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
割込み (Barge)	共有回線のコールに参加する
折返し (CallBack)	話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
不在 (CFwdALL)	コール転送を設定またはキャンセルする
参加者 (ConfList)	会議の参加者を表示する
会議 (Confrn)	会議コールを作成する
サイレント (DND)	サイレントをオンまたはオフにする
編集 (EditDial)	履歴の電話番号を編集する
G ピック (GPickUp)	他のグループまたは別の回線で呼び出し中のコールに応答する
ハント (HLog)	ハントグループにログインまたはハントグループからログアウトする
即転送 (iDivert)	コールを自分のボイスメッセージシステムに送信する
参加 (Join)	単一の回線にすでに存在する複数のコールに参加して、会議を開催する
迷惑呼 (MCID)	不審なコールをレポートする
ミーティング (MeetMe)	ミーティング会議コールを開催する
メッセージ (Message)	ボイスメールにアクセスする
パーク (Park)	コールパークを使用してコールを保存する
電話帳 (Ph Book)	電話帳を開く
ピック (PickUp)	グループ内のコールに応答する

品質 (QRT)	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
削除 (Remove)	会議参加者の削除
転送 (Transfer)	コールを転送する

テキストの入力

文字：キーを 1 回または複数回押します。

スペース： を押します。

数字：数字キーを押します。

記号：以下のキーを押します。

 * + - / = \ : ; を入力する場合

  スペース , ‘ ‘ | _ ~ ' を入力する場合

 # ? () [] { } を入力する場合

 ! @ < > \$ % ^ & を入力する場合

電話スクリーンのアイコン

回線とコールの状態	
	保留されているコール
	使用中の共有回線
	コール転送が有効
	着信コールまたは BLF で監視された回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)
	BLF でモニタされた回線が使用中
	BLF でモニタされた回線がアイドル状態
	BLF でモニタされた回線はサイレント状態
	スピードダイヤル、履歴、またはディレクトリリスト (BLF ステータス不明)
	インターコム回線がアイドル状態

	インターコム回線が片通話
	インターコム回線が双方通話
回線機能	
	電話回線
	サービス URL
	ボイスメッセージ
その他の機能	
	ミュートがオン
	ヘッドセットがアクティブ
	Bluetooth が有効
	Bluetooth デバイスが接続済み
	スピーカー モードがアクティブ
	呼出音がオフ (無音モード)
	呼出音と振動がオン
	振動だけがオン
	アプリケーションがアクティブ
	無線信号のステータス
	無線信号なし
	バッテリーの充電のステータス
	キーパッドがロック済み
	連絡先番号 (会社)
	連絡先番号 (自宅)
	連絡先番号 (携帯電話)
	連絡先番号 (その他)

Contents

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、7926G クイックリファレンス	iii
電話機の使用	iii
ショートカット キーとボタン	iii
一般的な電話の操作	iii
ソフトキーの機能	iv
テキストの入力	iv
電話スクリーンのアイコン	iv
はじめに	1
このガイドの使用方法	1
追加情報の入手	2
安全性とパフォーマンスに関する情報	2
シスコ製品のセキュリティ	6
アクセシビリティ機能	6
電話機の接続	7
電話機のバッテリーの取り付け	7
電話機のバッテリーの充電	11
AC 電源を使用したバッテリーの充電	11
USB ケーブルと PC の USB ポートを使用してバッテリーを充電	13
電話機の電源オン	14
ユーザ名とパスワードの設定	15
テキストの入力と編集	16
Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、7926G の付属品	17
ヘッドセットについて	17
ロック セットとケーブル ロックを使用しての電話機の固定	18

電話機の概要	20
Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G	20
Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX	21
ボタンとハードウェアについて	23
電話スクリーンの機能について	27
ホーム スクリーンの表示について	29
機能ボタンとメニューについて	30
電話機のヘルプ システムの使用	31
電話機のボタンの使用	32
回線と通話について	33
回線およびコールのアイコンについて	33
範囲外警告について	35
機能の可用性について	35
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのサポート	35
電話機におけるハンズフリー プロファイルのサポート	36
電話機のクリーニング	37
基本的なコール処理	38
コールの発信：基本的なオプション	38
コールの発信：その他のオプション	41
コールへの応答	44
コールの終了	46
コールの保留と復帰	46
ミュートの使用	47
複数のコール間での切り替え	48
コールの転送	49
別の電話番号へのコールの転送	50
サイレントの使用	51
会議コールの使用方法	54
会議の各機能の使用方法	54
会議機能の使用方法	54
参加機能の使用方法	55
C 割り込みの使用方法	56

ミーティングの使用法	57
会議参加者の表示または削除	58
インターコム コールの発信と受信	59
応用的なコール処理	61
スピードダイヤル	61
スピードダイヤルとファストダイヤルの使用	62
自分の電話機でリダイレクトされたコールをピックアップ	64
パークされたコールの保存と取得	65
ハントグループからのログアウト	66
共有回線の使用	67
共有回線について	67
割り込みの使用による自分自身の共有回線のコールへの追加	68
割り込み機能について	68
割り込み機能の使用法	68
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	69
BLFの使用による回線の状態の確認	70
安全なコールの送受信	71
不審なコールのトレース	73
重要なコールの優先順位付け	73
Cisco エクステンション モビリティの使用法	75
アプリケーション ボタンの使用	75
Push to Talk サービスの使用	76
バーコード スキャナの使用	76
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用	77
ヘッドセットの取得	78
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用	78
自動応答の使用	82
電話機の設定の変更方法	84
呼出音のカスタマイズ	84
音量設定のカスタマイズ	86
電話スクリーンのカスタマイズ	87

キーパッド設定の変更	89
任意のキーを使用して電話機に応答する	89
自動的にロックされるようにキーパッドを設定	90
キーパッド操作音の変更	92
ネットワーク プロファイル リストの表示	92
ハードウェア診断の表示	94
キーパッド診断の実行	94
オーディオの診断の実行	94
WLAN の診断の実行	95
スキャナの診断の実行	95
通話履歴とディレクトリの使用方法	97
履歴の使用方法	97
ディレクトリ ダイヤリング	99
電話機での社内ディレクトリの使用方法	99
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用	100
Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降	100
Cisco Unified Communications Manager Release 5.0 以降	101
電話機の電話帳の使用	104
ボイス メッセージにアクセスする	111
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	112
Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ	112
ユーザ オプション Web ページへのログイン	112
電話サービスへの登録	113
Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ	115
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	115
Web での機能およびサービスの設定	116
Web でのスピード ダイヤルの設定	117
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	118
Web での電話機サービスの設定	121

Web でのユーザ設定の制御	122
Web での回線設定の制御	123
Cisco WebDialer の使用方法	125
その他の設定オプションについて	127
電話機のトラブルシューティング	129
一般的なトラブルシューティング	129
電話機の管理データの表示	131
品質レポート ツールの使用	131
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	133
Index	135

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作
安全情報を参照する	「 安全性とパフォーマンスに関する情報 」(P.2)を参照してください。
電話機をネットワークに接続する	「 電話機の接続 」(P.7)を参照してください。
設置後に電話機を使用する	「 電話機の概要 」(P.20)を参照してください。
ボタンとメニューについて調べる	「 機能ボタンとメニューについて 」(P.30)を参照してください。
電話スクリーンについて調べる	「 電話スクリーンの機能について 」(P.27)を参照してください。
コールを発信する	「 コールの発信：基本的なオプション 」(P.38)を参照してください。
コールを保留にする	「 コールの保留と復帰 」(P.46)を参照してください。
ミュートにする	「 ミュートの使用 」(P.47)を参照してください。
コールを転送する	「 コールの転送 」(P.49)を参照してください。
会議コールを発信する	「 会議コールの使用方法 」(P.54)を参照してください。
別の電話番号へのコールの転送	「 別の電話番号へのコールの転送 」(P.50)を参照してください。
電話番号を共有する	「 共有回線の使用 」(P.67)を参照してください。
別の電話機で鳴っているコールに応答する	「 自分の電話機でリダイレクトされたコールをピックアップ 」(P.64)を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	「 ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用 」(P.77)を参照してください。
スピードダイヤルを設定する	「 スピードダイヤル 」(P.61)を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	「 呼出音のカスタマイズ 」(P.84)を参照してください。
不在履歴を表示する	「 通話履歴とディレクトリの使用方法 」(P.97)を参照してください。
ボイスメッセージの聞き取り	「 ボイスメッセージにアクセスする 」(P.111)を参照してください。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページを使用し て電話機をカスタマイズする	「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.112) を参 照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイック リファレンス カードを参照し てください。

追加情報の入手

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

シスコの Web サイトへは、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

最新のライセンス情報については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html

安全性とパフォーマンスに関する情報

ワイヤレス IP 電話をインストールまたは使用する前に、以下の安全上の注意事項をお読みください。



警告

安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。警告の各国語版については、各警告文の末尾に提示されている番号をもとに、この機器に付属している各国語で記述された安全上の警告を参照してください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保存しておいてください。



(注) このマニュアルに記載されている警告の翻訳を読むには、本製品に付随する『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 Series and Peripheral Devices*』マニュアルの該当するステートメント番号を参照してください。

**警告**

インストール手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004

**警告**

電源に障害が発生すると、Voice over IP (VoIP) サービスと緊急コール サービスが動作しません。電源が復旧した後、VoIP および緊急コール サービスへ再びアクセスできるように機器のリセットまたは再設定をする必要がある場合があります。米国の緊急電話番号は、911 です。お住まいの国の緊急電話番号を確認してください。ステートメント 361

**警告**

いつでも装置の電源を切断できるように、バッテリー・チャージャのプラグおよびソケットはすぐに手が届く状態にしておいてください。ステートメント 1019

**警告**

バッテリー・チャージャは、設置する建物の一部に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に準拠するように設置する必要があります。ステートメント 1045

**警告**

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G は、高いレベルの爆発性ガスが発生する可能性があるような危険な場所では使用しないでください。このような場所でワイヤレス デバイスを使用する場合、事前に現場の安全技師と共に確認作業を行ってください。

**警告**

爆発を誘発しやすい環境で、Cisco Unified IP Wireless Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G のバッテリーに充電することは避けてください。

**警告**

爆発を誘発しやすい環境では、CSA または ATEX 認定の付属品と共に Cisco Unified IP Wireless Phone 7925G-EX を使用してください。

**警告**

受話器によって磁場が発生し、ピンやホチキスの針などの小さな金属が引き寄せられる可能性があります。けがを避けるため、そのような物体がある場所にハンドセットを置かないでください。

バッテリーに関する安全上の注意

以下のバッテリーに関する安全上の注意は、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G の製造元が承認するバッテリーに適用されます。



警告

バッテリーが適正に交換されなかった場合、爆発の危険があります。交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。使用済みバッテリーは、製造元の指示に従って処分してください。ステートメント 1015



警告

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040



警告

バッテリーパックは、火や水の中には捨てないでください。火の中に捨てると、バッテリーが爆発するおそれがあります。



注意

バッテリーパックは、本デバイスでのみ使用してください。



注意

バッテリーパックを分解、破壊、穿刺、または焼却しないでください。



注意

引火、燃焼、またはバッテリーパックの損傷の危険を避けるため、金属がバッテリーの接続部に触れないようにしてください。



注意

損傷または漏洩したバッテリーは、十分注意を払って扱ってください。電解液に触れる場合、肌が露出している部分を石鹼と水で洗ってください。電解液が目に入った場合、15 分間水で目を洗い、医師の診察を受けてください。



注意

周囲の温度が華氏 104 度（摂氏 40 度）を超える場合、バッテリーパックの充電は避けてください。



注意

バッテリーパックを、高温（華氏 140 度、摂氏 60 度）にさらされる場所に保管しないでください。

**注意**

バッテリーパックを破棄する際には、バッテリーの破棄またはリサイクルに関する地元の規制について、地元の廃棄物処理業者に問い合わせてください。

**注意**

バッテリーを取得するには、地元のディーラーに問い合わせてください。シスコの製品番号が付いたバッテリーだけを使用してください。

標準バッテリー : CP-BATT-7925G-STD

拡張ユースバッテリー : CP-BATT-7925G-EXT

**注意**

ご使用の電話機と互換性があるシスコの電源装置だけを使用してください。電源装置を注文する場合、地元のディーラーに問い合わせ、シスコの製品番号リストを参照してください。

オーストラリア : CP-PWR-7925G-AU=

中央ヨーロッパ : CP-PWR-7925G-CE=

中国 : CP-PWR-7925G-CN=

日本 : CP-PWR-7925G-JP=

北米 : CP-PWR-7925G-NA=

英国 : CP-PWR-7925G-UK=

**(注)**

バッテリーと電源装置は、電話機には付属していません。バッテリーと電源装置を注文する場合、地元のディーラーに問い合わせてください。

停電

電話機によって救急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が入っているワイヤレスアクセスポイントによります。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コールサービスダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用および緊急コールサービスへのダイヤルを行う必要があります。

規制区域

本電話機の Radio Frequency (RF; 無線周波数) は、特定の規制区域に合わせて設定されています。その規制区域外で本電話機を使用すると、電話は正しく機能しなくなり、地元の規制に違反してしまうおそれがあります。

ヘルスケア環境

この製品は、医療機器ではありません。他の装置または機器からの干渉を受けやすい、ライセンスのない周波数帯域を使用します。

外部デバイスの使用方法

以下の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスの保証ができません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive (89/336/EC) に完全に準拠した外部ヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。シスコのアクセシビリティ機能の詳細については、次の URL で参照できます。

www.cisco.com/go/accessibility

電話機の接続

新しい Cisco Unified Wireless IP Phone を社内ワイヤレス ネットワークおよび IP テレフォニー ネットワークに接続するのはシステム管理者です。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G の電源は再充電可能リチウム イオン バッテリーです。電話機を使用する前に、このバッテリーを電話機に取り付け、充電する必要があります。使用するバッテリーのタイプにより、完全に充電されたバッテリーの駆動時間は以下のとおりになります。

- 標準バッテリーの通話時間は最大 9.5 時間、スタンバイ時間は最大 180 時間です。
- 拡張バッテリーの通話時間は最大 13 時間、スタンバイ時間は最大 240 時間です。



(注) Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用すると、どちらのタイプのバッテリーでも通話時間とスタンバイ時間が短くなります。さらに、システム管理者が電話機を設定する方法もバッテリー寿命に影響を与えます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話機のバッテリーの取り付け

このセクションでは、電話機のバッテリーの取り付け方法について説明します。以下の図を参照して以下の手順を実行してください。

1. 電話機のカバーを取り外します。
2. バッテリーを取り付けます。
3. カバーを取り付けます。

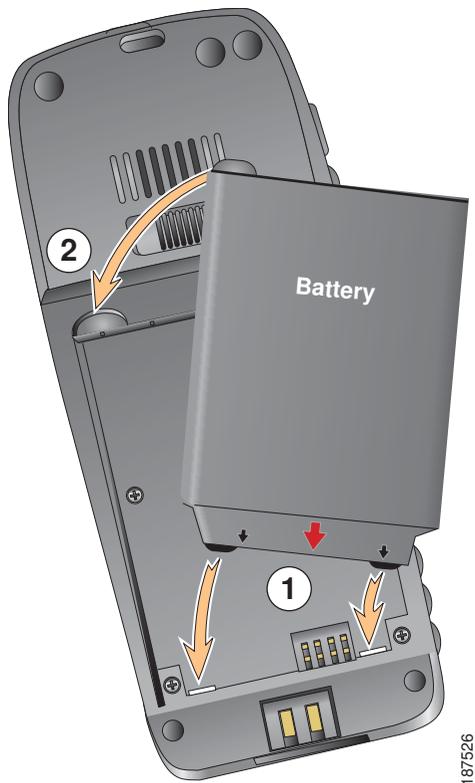
電話機のカバーを取り外す場合、下図の手順に従ってください。



187525

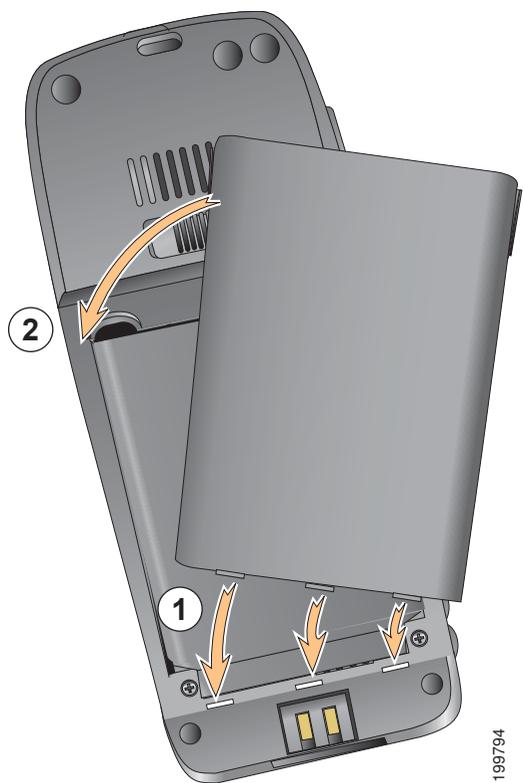
- | | |
|----------|----------------------------------|
| 1 | ロッキング キャッチを左側に押して、カバーのロックを解除します。 |
| 2 | バッテリー コンパートメントのカバーを持ち上げて取り外します。 |

バッテリーを取り付ける場合、下図の手順に従ってください。



- | | |
|----------|--|
| 1 | バッテリーをバッテリー コンパートメントの下部に合わせて、電話機の金属接点とバッテリーが互いに向き合っていることを確認します。 |
| 2 | バッテリーを、しっかり収まるまでバッテリー コンパートメントに押しこみます。バッテリーが電話機にしっかり合っていることを確認します。 |

電話機のカバーを取り付ける場合、下図の手順に従ってください。



- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | カバーの下部にあるロックング キャッチを電話機のノッチに合わせます。 |
| 2 | カバーをカチッという音がするまで電話機にしっかり押し込みます。 |

電話機のバッテリーの充電

ワイヤレス IP 電話でバッテリーを充電するには、AC 電源または USB ケーブルを電話機に接続します。詳細については、以下のセクションを参照してください。

- 「AC 電源を使用したバッテリーの充電」(P.11)
- 「USB ケーブルと PC の USB ポートを使用してバッテリーを充電」(P.13)

バッテリー タイプ	AC 電源を電話機に接続した場合の充電時間	USB ケーブルを使用して電話機を PC の USB ポートに接続した場合の充電時間
標準	2 時間	5 時間
拡張	3 時間	7 時間



(注) デスクトップ チャージャまたはマルチチャージャを使用してバッテリーを充電することも可能です。詳細については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide](#)』を参照してください。

AC 電源を使用したバッテリーの充電

AC 電源を電話機に接続することによってバッテリーを素早く充電できます。異なる AC 電源レセプタクルに対応するには、AC 電源に適切な AC プラグ アダプタに挿入する必要があります。

電話機はバッテリーの充電中にも使用できます。バッテリーが充電された後、電源コードを外しても、電話機に電源コードを差し込んだままにしてもかまいません。



(注) 設定によっては、電話機を AC 電源に接続すると、電話機の電源が自動的にオフになる場合があります。AC 電源には、電源、デスクトップ チャージャ、またはマルチチャージャなどがあります。電話機を AC 電源に接続したまま使用している場合（コール中または XML 電話サービスの使用中）、コール後や電話サービスの終了後に電話機の電源がオフになります。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

AC 電源を使用して電話機内のバッテリーを充電する場合、以下の図の手順に従ってください。



187528

1	ミニ USB ポートのカバー（電話機の下部）を持ち上げます。
2	ポートのカバーを片側に回転します。
3	AC 電源のミニ USB コネクタをポートに差し込みます。
4	AC プラグアダプタを電源のスロットに差し込みます。
5	AC 電源を壁コンセントに差し込みます。
6	インジケータライト：充電の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none">赤：バッテリーの充電中緑：バッテリーの充電が完了

USB ケーブルと PC の USB ポートを使用してバッテリーを充電

USB ケーブル付きの電話機と PC の USB ポートを接続することによって、電話機内のバッテリーを充電できます。PC の USB ポートを使用してバッテリーを充電する場合、充電時間が長くなります。

USB ケーブルと USB ポートを使用してバッテリーを充電する場合、以下の図を参照して手順に従ってください。



187639

目的	必要な操作
USB ケーブルを使用してバッテリーを充電する	<ol style="list-style-type: none"> 1. USB ケーブルのミニ USB コネクタを電話機に差し込みます。 2. USB A タイプ コネクタを、PC の USB ポートに差し込みます。 <p>(注) 新しいハードウェアの検索ウィザードが開いた場合、この表の次の行を参照して停止してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 電話機のステータス行に「USB が接続されました (USB Connected)」と短く表示されたら、インジケータ ライトを監視します。 バッテリーが充電中、インジケータ ライトは赤になります。バッテリーが完全に充電されると、インジケータ ライトは緑に変わります。

目的	必要な操作
USB ポートに接続すると開く新しいハードウェアの検索のウィザードを停止する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [次へ (Next)] をクリックして、ウィザードのダイアログ ボックスを使用します。 2. [ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか? (Update New Software)] ダイアログで、[いいえ、今回は接続しません (No, not this time)] をクリックし、[次へ (Next)] をクリックします。 3. [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨) (Install the Software automatically (Recommended))] をクリックして、[次へ (Next)] をクリックします。 4. しばらくすると、[このハードウェアをインストールできません (Cannot Install This Hardware)] ダイアログが表示されます。[このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない (Don't prompt me again to install this software)] をクリックします。 5. [終了 (Finish)] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

電話機の電源オン

バッテリーを充電した後、コールを発信および受信するには、電話機の電源をオンにする必要があります。

目的	必要な操作
電話機の電源をオンにする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話機の電源がオンになるまで  (赤いボタン) を押し続けます。 2. ワイヤレス ネットワークにアクセスするためにユーザ名とパスワードを入力する必要がある場合があります。詳細については、「ユーザ名とパスワードの設定」(P.15) を参照してください。 3. Cisco Unified Communications Manager での認証および登録が完了すると、電話機にメイン画面が表示されコールの発信または受信ができるようになります。
信号の強度を確認する	<p> アイコンが、ワイヤレス アクセス ポイントと電話機間の信号の強さを示します。電話機がコールを発信または受信するには少なくとも 1 本のバーが表示されている必要があります。</p> <p>電話機を信号範囲の外に移動すると、ワイヤレス LAN との接続が失われます。 が表示され、ステータス行に「サービス圏外に接近中 (Leaving service area)」と表示されます。</p>

ヒント

一定の時間が経過すると、アイドル状態の電話スクリーンがオフになる場合があります。電話機の電源がまだオンであり、バッテリー電源の使用中にワイヤレス ネットワークに接続されていることを警告するため、インジケータ ライトが 2 秒おきに緑で点滅します。

ユーザ名とパスワードの設定

ネットワーク内で初めて電話機の電源をオンにする場合、ワイヤレス ネットワークにアクセスするためにユーザ名とパスワードを設定する必要がある場合があります。不明な点については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作
ユーザ名とパスワードを設定する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="387 560 1259 646">1. [ (設定 (Settings))] > [ネットワーク プロファイル (Network Profile)] を選択します。 <li data-bbox="387 662 1259 743">2. 現在のプロファイル名 ( が表示されています) を強調表示して、[表示 (View)] を押します。 (注)  アイコンは、この画面がロックされていることを示します。不明な点については、システム管理者にお問い合わせください。 <li data-bbox="387 857 1259 922">3. [WLAN の設定 (WLAN Configuration)] を強調表示して、[表示 (View)] を押します。 <li data-bbox="387 938 1259 1003">4. [ユーザ名 (Username)] または [パスワード (Password)] までスクロールして、 を押します。 <li data-bbox="387 1019 1259 1182">5. キーパッドを使用して、[新規ユーザ名 (New Username)] または [新規パスワード (New Password)] フィールドにユーザ名またはパスワードを入力します。 不明な点については、「テキストの入力と編集」(P.16) を参照してください。 (注) EAP/LEAP パスワードには、最大 32 文字の英数字を使用できます。 <li data-bbox="387 1247 1259 1312">6. 変更内容を確定するには、[オプション (Options)] > [保存 (Save)] を選択します。 <li data-bbox="387 1328 1259 1360">7. メイン画面に戻るには、 (赤いボタン) を押します。

テキストの入力と編集

パスワードには、文字、数字、および特殊文字を入力できます。キーパッドで数字キーを押すと、テキストバブルにそのキーが制御するすべての文字および記号が表示されます。押すたびに別の文字オプションに移動します。

目的	必要な操作
文字を入力する	入力する文字（大文字または小文字）が強調表示されるまで番号キーを押します。
数字を入力する	番号キーを押して、入力する数字を探します。
最後の文字を削除する	最後の文字または数字を削除する場合、[<<] を 1 回押し、文字列全体を削除するには、[<<] を押し続けます。
スペースを入力する	 を押して、文字間にスペースを入力します。
特殊文字と記号を入力する	 を押して、記号 (* + - / = \ : ;) を表示および入力します。  を押して記号 (スペース , . ‘ “ _ ~ ‘) を表示および入力します。  を押して記号 (# ? () [] { }) を表示および入力します。  を押して記号 (! @ < > \$ % ^ &) を表示および入力します。
編集モードをキャンセルする	[オプション (Options)] > [キャンセル (Cancel)] を選択して、メニュー オプションまたはメイン画面に戻ります。

TAPS を使用した登録

電話機をワイヤレス LAN ネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS; 内線番号自動登録システム) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、電話機を新たに導入する場合にも、既存の電話機を入れ替える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、接続解除します。電話機が再起動します。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、7926G の付属品

電話機で使用できる付属品には以下のものがあります。

- 標準および拡張バッテリー
- 各地域に対応した AC 電源
- デスクトップ チャージャ
- マルチチャージャ
- 携帯用ケース
- ロック セット



警告

危険な場所では、CSA または ATEX 認定の付属品と共に Cisco Unified IP Wireless Phone 7925G-EX を使用してください。

付属品の完全なリストと説明については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide](#)』を参照してください。

ヘッドセットについて

ヘッドセットの使用については、「[ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用 \(P.77\)](#)」を参照してください。シスコでは、サードパーティ製の有線および Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G との併用について、社内テストを実施しておりますが、ヘッドセットまたはハンドセット ベンダ製の製品の保証またはサポートは行いません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を 1 つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、「[外部デバイスの使用方法 \(P.6\)](#)」を参照してください。

特定のヘッドセットが Cisco Unified IP Phone とは合わない主要な理由は、ハム音の発生です。ハム音は、相手方だけに聞こえる場合もあれば、相手方と Cisco IP Phone のユーザの両方に聞こえる場合もあります。雑音やビーブ音には、電灯、電気モーターの付近、または大型の PC モニタなどの外的要因によって起こるものもあります。また、ヘッドセットの力学または電子工学的な要素が原因となって、Cisco Unified IP Phone ユーザと会話したときにリモートの相手に本人のエコーが聞こえることもあります。

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用法

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用すると、電話機におけるバッテリーの電気消費量が増加することが多く、その結果、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを動作させるには、電話機から可視範囲内にヘッドセットを直接設置する必要はありませんが、壁やドアといった障害物や電気製品からの干渉が接続に影響する場合があります。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音質は主観的なものであり、シスコは、いかなるヘッドセットの音質も保証できませんが、下記のサイトのヘッドセットのなかには、Cisco Unified IP Phone で良好な音質を提供すると報告されているものがあります。

ただし、最終的には、その機器がお客様の環境で適切な音質を実現するかどうかのテストは、お客様自身が行う必要があります。

電話機の有線および Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットについては、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide](#)』および以下の Web サイトを参照してください。

- <http://www.plantronics.com>
- <http://www.jabra.com>
- <http://www.jawbone.com>

ロック セットとケーブル ロックを使用しての電話機の固定

シスコからロック セットを購入することによって、電話機をデスクトップに固定することができます。詳細については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide](#)』を参照してください。

ロック セットを取り付ける場合、図を参照して、以下の手順に従ってください。

目的	必要な操作
ロック セットを電話機に取り付ける	<ol style="list-style-type: none">1. 安全ケーブルをデスクトップのポストに巻きつけるか、穴に通します。安全ケーブルの両端の輪を C リングに通します。2. ケーブルの輪が通された C リングを電話機の背面にあるスロットに通します。3. ダイアル錠を使用して、ケーブルの輪と電話機に通された C リングの両端を固定します。 電話機はデスクトップの近くに固定されます。



187685



(注) ロック セットにはケーブル ロックは含まれません。

電話機の概要

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G



Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G は、高機能電話機であり、認定 Bluetooth ワイヤレス デバイス (Qualified Device ID (QDID) B014396) です。この電話機は、コンピュータが使用するものと同じワイヤレス LAN を使用して音声によるコミュニケーションを提供するものであり、電話機のコールの発信や受信、保留、転送、会議の開催などが可能です。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。

設定に応じて、次がサポートされます。

- ハンズフリー コール機能を含む、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用
- 電話番号および社内ディレクトリへのワイヤレス アクセス

- 最大 200 の連絡先を保存可能なローカルな電話帳、および電話帳の連絡先に割り当て可能なスピードダイヤルホットキー
- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよびユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示するオンライン ヘルプ システム

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX



Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX は、Atmospheres Explosibles (ATEX) Zone 2/Class 22 および Canadian Standards Association (CSA) Division 2/Class 1 認定の高機能電話機です。この電話機は、ガス、オイル、および化学製品製造現場における爆発を誘発しやすい環境に加え、ほこりが充満した環境での使用が認められています。この電話機は、防水保護された防塵機器であることを示す保護等級 64 (IP 64) レベルの保護がされています。この電話機は、緊急事態に見つけやすいように業界標準の黄色のスタイルとなっています。この電話機は、認定 Bluetooth ワイヤレス デバイス (Qualified Device ID (QDID) B014396) です。この電話機は、コンピュータが使用するものと同じワイヤレス LAN を使用して音声によるコミュニケーションを提供するものであり、電話機のコールの発信や受信、保留、転送、会議の開催などが可能です。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。

設定に応じて、次がサポートされます。

- ハンズフリー コール機能を含む、**Bluetooth** ワイヤレス ヘッドセットの使用
- 電話番号および社内ディレクトリへのワイヤレス アクセス
- 最大 **200** の連絡先を保存可能なローカルな電話帳、および電話帳の連絡先に割り当て可能なスピードダイヤル ホットキー
- ネットワーク データ、**XML** アプリケーションおよび **Web** ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよびユーザ オプション **Web** ページからのサービス

爆発を誘発しやすい環境

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G-EX は、**ATEX Zone 2** および **CSA Class 1 Division II** 認定機器です。つまり、この電話機を操作できるのは、通常では爆発性ガス雰囲気が発生する可能性が少ない、発生する場合でもめったに発生せず、短期間しか続かない（たとえば、1 年に **10** 時間未満）領域です。さらに、この電話機は、爆発しやすい、または引火しやすい混合ガスが発生させるのに十分な量の引火性のガスまたは煙が空気中に存在する可能性がある場所、分類済みの危機は通常は存在しないが、異常な条件下では存在する可能性がある場所でも操作できます。

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。



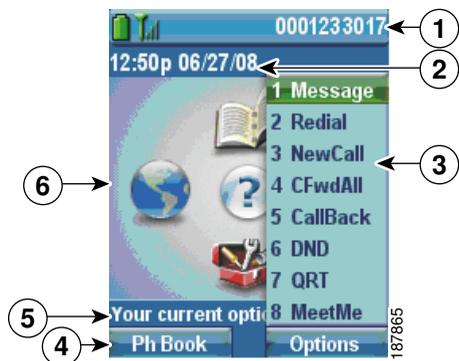
1	インジケータランプ (LED)	<p>以下の表示があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤の点灯：電話機が AC 電源に接続され、バッテリーの充電中です。 緑の点灯：電話機が AC 電源に接続され、バッテリーは完全に充電されています。 赤の高速点滅：着信コール。電話機は、充電中か、または完全に充電されています。 赤の低速点滅：ボイス メッセージ。電話機を AC 電源に接続すると、赤いライトが、バッテリーだけを使用しているときより長く表示されます。 緑の低速点滅 (2 秒ごと)：電話機がバッテリー電源だけを使用しています。電話機がワイヤレス ネットワークに登録され、サービス カバレッジ領域内にあります。
2	ヘッドセットポート (カバー付き) 	ヘッドセットまたは小型イヤホンの接続ポートには保護カバーが付いています。
3	スピーカー ボタン 	電話機のスピーカー モードのオンとオフを切り替えます。
4	右ソフトキー ボタン 	ソフトキーのリストへアクセスするためのオプション メニューをアクティブにします。ソフトキー ラベルが表示される場合もあります。

5	ナビゲーション ボタン 	メイン画面から以下のメニューおよびリストにアクセスします。 ディレクトリ  回線表示  設定  サービス  メニューを上下にスクロールして、オプションを強調表示し、各電話番号およびテキスト エントリの間を左右に移動することができます。
6	選択ボタン 	メイン画面からヘルプ メニューをアクティブにします。 メニュー項目、ソフトキー、コール、または操作を選択できます。
7	電源/終了ボタン (赤) 	電話機の電源をオンまたはオフにしたり、接続コールを終了させたり、コールの着信中の呼出音を消したりします。 メニューの使用中は、メイン画面へ戻るためのショートカットになります。
8	ポンド (#) キー 	キーパッドをロックできます。 テキストの入力中に以下の特殊文字を入力できます。 # ? () [] { }
9	ゼロ (0) キー 	番号のダイヤル時に「0」を入力します。テキストの入力中に、スペースまたは以下の特殊文字を入力できます。 \。 ‘ “ _ ~ ’
10	アスタリスク (*) キー 	呼出音と振動モードを切り替えます。 テキストの入力中に以下の特殊文字を入力できます。 * + - / = \ : ;
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、および番号でメニュー項目を選択できます。
12	1 キー 	番号のダイヤル時に「1」を入力します。ボイス メッセージ システムにアクセスできます。 テキストの入力中に以下の特殊文字を入力できます。 ! @ < > \$ % ^ &

<p>13 応答/送信ボタン (緑)</p> 	<p>呼出中のコールに応答したり、番号をダイヤルした後にコールを発信したりできます。</p>
<p>14 左ソフトキーボタン</p> 	<p>画面に表示されているソフトキー オプションをアクティブ化します。 自分で設定した場合、メッセージに直接アクセスしたり、電話機がアイドル状態の時に電話帳を開いたりできます。</p>
<p>15 ミュートボタン</p> 	<p>ミュート機能のオン/オフを切り替えます。</p>
<p>16 音量ボタン</p> 	<p>電話機がアイドル状態の時に、呼出音の音量を制御したり、振動オプションをオンにしたり、呼出音をオフにできます。 着信コールが鳴っている時に、このボタンを 1 回押せば、コールの呼出音を消すことができます。 コール中に、ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカー モードのスピーカーの音量を制御することができます。</p>
<p>17 アプリケーションボタン</p> 	<p>Push to Talk やその他のサービスなどの、XML アプリケーションで使用します。詳細については、「Push to Talk サービスの使用」(P.76) を参照してください。</p>
<p>18 バーコード スキャナ</p>	<p>Java MIDlet アプリケーションで使用して、バーコードをスキャンすることができます。</p>  <p>(注) 使用できるのは Cisco Unified IP Phone 7926G のみです。</p>

電話スクリーンの機能について

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G にはソフトキー ボタンが 2 つしかないなので、[オプション (Options)] ソフトキーには、その電話機で使用できる機能オプションのリストが表示されます。[オプション (Options)] リスト内の機能は、その電話機がアイドル状態なのか、アクティブ コール中なのかで異なります。以下に、[オプション (Options)] が開いた状態のメイン画面を示します。



1	電話機のステータス行	以下のアイコン（アクティブな場合）と電話番号を表示します。
		バッテリー アイコン：バッテリーの充電のレベルを示します。
		バッテリー取り外しアイコン：バッテリーが取り外されているか認識されていないことを示します。
		信号アイコン：信号の強度を示します。
		キー ロック アイコン：キーパッドがロックされていることを示します。
		スピーカー アイコン：スピーカー モードがアクティブであることを示します。
		ミュート アイコン：ミュートがアクティブであることを示します。
		ヘッドセット アイコン：ヘッドセットがアクティブであることを示します。
		呼出音オフ アイコン：電話機の呼出音が消されていることを示します。
		振動アイコン：電話機の呼出が振動でのみ行われることを示します。
		振動および呼出音アイコン：電話機の呼出が振動と音で行われることを示します。
		ボイス メッセージ アイコン：ボイス メッセージを受信したことを示します。
		アプリケーション アイコン：アプリケーション（Push to Talk など）がアクティブであることを示します。
		Bluetooth アイコン：Bluetooth 設定が有効であることを示します。
		Bluetooth アイコン：Bluetooth デバイスが接続されていることを示します。
	10140	プライマリ電話回線：プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。

2	日付時刻行 12:39 06/06/20	時刻および日付情報を表示します。
3	オプション メニュー	現在のコールの状態に応じたソフトキー機能を表示します。
4	ソフトキー ラベル領域 電話帳：オプション	ソフトキー オプションを表示し、ソフトキー機能の [オプション (Options)] リストへのアクセスを提供します。
		メニューまたは画面のアクティブなナビゲーション矢印を表示します。
5	ステータスと情報 現在のオプション	電話機のステータスまたは手順を表示します。
6	メイン画面	4つのメニュー アイコンとヘルプを表示します。

ホーム スクリーンの表示について

ホーム スクリーンは、アイドル状態のときに電話スクリーンに表示されます。ホーム スクリーンはメイン画面または回線表示になります。システム管理者が、電話機におけるホーム スクリーンの表示方法を決定します。

メイン画面が表示されたホーム スクリーン

以下に、メイン画面が表示されたホーム スクリーンを示します。



回線表示内のホーム スクリーン

以下に回線表示内のホーム スクリーンを示します。メイン画面にアクセスするには、◀ を押します。



機能ボタンとメニューについて

メイン画面から、ナビゲーション ボタンを使用して機能メニューにアクセスできます。

目的	必要な操作
機能メニューを開く	ナビゲーション ボタンの矢印を押して、メイン画面から以下のメニューのいずれかにアクセスします。 ディレクトリ   回線表示   設定   サービス  
メニューまたはリストをスクロールする	ナビゲーション ボタンを上下に押します。 

目的	必要な操作
メニュー オプションを選択する	以下のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 項目のキーパッド番号キーを押します。 • スクロールして項目を強調表示してから、 ボタン（ナビゲーションボタンの中央）を押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[戻る (Back)] を押します。 (注) メニューを閉じてメイン画面に戻るには、任意のメニュー レベルから  を押します。
電話番号または名前を編集するためにカーソルの位置を戻す	ナビゲーション ボタンを左右に押します。 
強調表示されたコールまたはオプションを選択する	 を押します。
ヘルプを使用する	メイン画面から、  を押します。

電話機のヘルプ システムの使用

この電話機には、オンライン ヘルプ システムが用意されています。ヘルプの項目はスクリーンに表示されます。

目的	必要な操作
メイン メニューを表示する	 を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。 メイン メニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明 • 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順 • コール機能：コール機能に関する説明や手順 • ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 を押し、オンライン ヘルプのメイン メニューが表示されるまで数秒待つてから、[ヘルプ (Help)] を選択します。

電話機のボタンの使用

電話機のキーパッドとボタンには、よく使用する機能へのショートカットが用意されています。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
電話機のキーパッドをロックする	画面に「キーパッドがロックされました (Keypad Locked)」と表示され、  アイコンがメイン画面の上部に表示されるまで、  キーを押し続けます。 (注) コールが受信されると、キーパッドのロックは一時的に無効になります。	「自動的にロックされるようにキーパッドを設定」 (P.90)
電話機のキーパッドのロックを解除する	[解除 (Unlock)] を押します。スクリーンに「キーパッドをロック解除しますか? (Unlock Keypad?)」と表示されたら、[OK] を押します。  アイコンの表示が消えます。 (注) [解除 (Unlock)] および [OK] ソフトキーが表示されたら、それらを押す必要があります。押さないと、キーパッドはロックされたままになります。	
呼出音と振動モードを切り替える	スクリーンが表示されるまで  を押し続けます。 「バイブレータをオンにします (Vibrate On!)」というメッセージと  アイコンが上部に表示されます。 再度呼出音モードに切り替えるには、スクリーンに「バイブレータをオフにします (Vibrate Off!)」と表示され、  アイコンの表示が消えるまで  を押し続けます。 (注) 音量ボタンを使用して振動モードを設定することも可能です。	「呼出音のカスタマイズ」 (P.84)
ボイスメッセージの聞き取り	電話機がボイスメッセージシステムに接続されるまで、  を押し続けます。	「ボイスメッセージにアクセスする」 (P.111)
コール中に音量を調整する	ハンドセット、スピーカー、ヘッドセット、または Bluetooth ヘッドセットのコールの場合は、  を押します。	「電話機のボタンの使用」 (P.32)
コールの呼出音のパターンを変更する	電話機がアイドル状態のときに、  を押して、呼出音の音量、振動、または無音モードを設定します。	「呼出音のカスタマイズ」 (P.84)

回線と通話について

回線とコールという用語は混乱を招く場合があります。以下に、これらの用語を明確に説明します。

- 回線：各回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。電話機は最大 6 つの回線をサポートします。使用している電話機の回線を表示するには、▶  を押して、回線表示を開きます。回線表示リスト内で電話回線アイコン  が付いている電話番号の数と同じ数の回線があります。
- コール：各回線は、複数のコール（一般的には最大 4 つ）をサポートできます。電話機は最大 24 の接続コールをサポートできますが、システム管理者が、ユーザの必要に応じて、その数を調整する場合があります。ある時点では 1 コールだけがアクティブになることができ、他のコールは自動的に保留になります。

回線およびコールのアイコンについて

以下に、2 つのアクティブ コールがあった場合のメイン画面の表示を示します。1 つは保留中（23827）で、もう 1 つは接続中（3956933）です。



1	電話機のステータス行	アイコンと自分の電話番号
2	コール アクティビティ領域	発信者の情報、接続時間、コール状態アイコン
3	ステータス行	選択した回線のステータス
4	ソフトキーのラベル	コール機能とオプション リスト

電話機には、以下のアイコンが表示され、回線およびコールの状態を確認できます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック	回線は使用中ですが、コールには接続されていません。
	接続中のコール	通話相手に接続されている状態です。
	着信コール、または Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) : モニタされた回線は呼出中 (BLF ピックアップ)	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」 (P.70) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線がアイドル状態	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」 (P.70) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線が使用中	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」 (P.70) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線はサイレント状態	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」 (P.70) を参照してください。
	この回線では、BLF インジケータは使用不可	「 BLF の使用による回線の状態の確認 」 (P.70) を参照してください。
	リモート回線が使用中	共有回線はリモートで使用中です。「 共有回線の使用 」 (P.67) を参照してください。
	保留されているコール	このコールが保留にされています。「 コールの保留と復帰 」 (P.46) を参照してください。
	コールの転送が有効	プライマリ回線が転送されました。「 別の電話番号へのコールの転送 」 (P.50) を参照してください。
	認証されたコール	「 不審なコールのトレース 」 (P.73) を参照してください。
	暗号化されたコール	「 不審なコールのトレース 」 (P.73) を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。「 インターコムコールの発信と受信 」 (P.59) を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	一方向のインターコムコール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。「 インターコム コールの発信と受信 」(P.59)を参照してください。
	双方向のインターコムコール	受信者が、インターコム回線で発信者との双方向通話をアクティブにしました。「 インターコム コールの発信と受信 」(P.59)を参照してください。

範囲外警告について

システム管理者は、ワイヤレス ネットワークの範囲外になったときにオーディオアラート（ビープ音）が鳴るように電話機を設定することができます。アラートが鳴ると、電話スクリーンに  アイコン（信号なし）が表示されます。

ワイヤレス ネットワークの範囲外になると、コールの発信および受信など、ワイヤレス ネットワークとの接続が必要な機能のために電話機を使用することができなくなります。

システム管理者が、範囲外のアラートを有効にすると、設定によって、ワイヤレス ネットワークの範囲内に戻るまでビープ音が 1 回だけ、10 秒おき、30 秒おき、または 60 秒おきに鳴ります。

アラートが鳴った後にワイヤレス ネットワークに再接続するには、電話画面に信号アイコン  が再び表示されるまで、別の場所に移動してください。

機能の可用性について

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G の操作方法と、使用できる機能は、企業が使用するコール処理エージェント、さらには、企業の電話機サポート チームが電話システムをどのように設定したかによって異なります。そのため、このマニュアルで説明する機能の中には、使用できないものや、実際の電話システムでは異なる動作を見せるものがある可能性があります。操作方法や機能の可用性については、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのサポート

Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G では、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用できます。ヘッドセットの使用については、「[ヘッドセットについて](#)」(P.17) と「[ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用](#)」(P.77)を参照してください。

電話機におけるハンズフリー プロファイルのサポート

電話機では、ハンズフリー プロファイルの一部の機能がサポートされています。ハンズフリー プロファイルは標準の機能セットであり、ハンズフリー デバイス（Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットなど）を使用して、電話機を操作することなく特定のタスクを実行し、「ハンズフリー」の状態になることができます。たとえば、電話機の [リダイヤル (Redial)] を押すことなく、ハンドセット メーカーの手順書に従って、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットから番号をリダイヤルすることが可能です。

以下のハンズフリー機能が、Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G で使用されている Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットで使用できます

- リダイヤル：最後にダイヤルした番号にリダイヤルします。
- 着信コールの拒否：即転送オプションを使用して、コールをボイスメールに直接転送します。
- スリーウェイ コール発信：アクティブ コールの他に、着信コールまたは保留中のコールがある場合、以下の 2 つの方法のいずれかでそのコールを処理することができます。
 - アクティブ コールを終了させ、待機中のコールに応答するか、復帰させます。
 - アクティブ コールを保留中にして、待機中のコールに応答するか、復帰させます。

詳細については、次の項を参照してください。

- 「コールの発信：基本的なオプション」 (P.38)
- 「コールへの応答」 (P.44)
- 「コールの保留と復帰」 (P.46)
- 「複数のコール間での切り替え」 (P.48)



(注) 各種ハンズフリー デバイスは、それぞれ機能のアクティブ化方法が異なります。ハンズフリー デバイスのメーカーが、同じ機能を指す上で異なる用語を使用している可能性もあります。

ハンズフリー機能の使用の詳細については、デバイスのメーカーが提供するマニュアルを参照してください。

電話機のクリーニング

電話スクリーンを、柔らかい乾いた布か湿らせたティッシュでそっと拭いてください。



(注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G および 7926G は、ほこりや水に強い構造となっておりますが、電話機の保護を強化したい場合、専用のシリコン ケースを購入できます。詳細については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Accessory Guide](#)』を参照してください。

基本的なコール処理

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の可用性が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

以下では、ワイヤレス IP 電話でコールを簡単に発信する方法をいくつかご紹介します。



(注) システム管理者は、ユーザの電話機を設定して、ワイヤレス ネットワークの範囲外になったときに（ビープ音によって）警告するようにすることができます。電話機を使用できるのは、ワイヤレス ネットワークの範囲内にある場合だけです。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none">1. 電話番号をダイヤルします。2.  を押して、コールを発信します。 <p>(注) ダイヤル トーンは鳴りません。</p>	「 コールへの応答 」 (P.44)
ハンドセットのスピーカモードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none">1.  ボタンを押し続けて、スピーカをオンにします。2. 電話番号をダイヤルします。3.  を押して、コールを発信します。 <p>(注) 再度  ボタンを押し続けてスピーカをオフにします。</p>	「 ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用 」 (P.77)
ハンドセットを使用してリダイヤルする	 を 2 回押すか、[オプション (Options)] > [リダイヤル (Redial)] を選択します。	
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用して番号をリダイヤルする	ヘッドセットのメーカーが提供するマニュアルを参照してください。	

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [保留 (Hold)] を選択します。 2. [オプション (Options)] > [新規コール (NewCall)] を選択します。 3. 番号をダイヤル、リダイヤル、またはスピードダイヤルします。 <p>(注) 新規コールではダイヤル トーンが聞こえます。</p>	「コールの保留と復帰」(P.46)
電話帳から番号をダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] または [電話帳 (Ph Book)] ソフトキー (使用可能な場合) を選択します。 2. 連絡先を強調表示してから、次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - 電話番号のアイコンが表示されるまで左または右にスクロールします。 <ul style="list-style-type: none">  職場の電話  自宅の電話  携帯電話  その他の電話 - [オプション (Options)] > [詳細 (Details)] を選択し、電話番号を強調表示します。 3.  を押すか、[オプション (Options)] > [ダイヤル (Dial)] を選択します。 	「電話機の電話帳の使用」(P.104)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> ▲  を押します。 [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 リストの番号キーを押すか、リストまでスクロールして  を押します。 	「履歴の使用方法」(P.97)
国際番号をダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 次のボタンを押し続けます。  「+」記号の後ろで、国番号を含む電話番号を入力します。  を押すか、[オプション (Options)] > [ダイヤル (Dial)] を選択します。 	

ヒント

- 番号をダイヤルする際、電話機は、着信履歴ログ内の一致する番号を表示することによって、ダイヤルしようとしている番号を予想して示します。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号をかけるには、その番号までスクロールして、 を押します。
- 間違ってダイヤルした場合は、[<<] を押して、番号を消去します。
- 最後の番号をリダイヤルする場合、 を 2 回押します。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- アクティブコール中に番号を押すと、その番号が画面に表示され、2 秒後にタイムアウトします。さらに番号を押すと、その番号が再度表示されます。
- 電話機からビープ音が聞こえたら、ワイヤレスネットワークの範囲外にいる可能性があります。電話機を使用したい場合、強い信号を示すアイコン  が電話機に表示される場所に移動してください。

コールの発信：その他のオプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ローカルの電話帳内の連絡先番号にスピードダイヤルする	<p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> スピードダイヤルホットキーを約2秒間押し続けます。 <p>(注) 2桁の番号をダイヤルする場合、1桁目を入力してから、2桁目を約2秒間押し続けます。</p> <ul style="list-style-type: none">  ([ディレクトリ (Directory)]) > [スピードダイヤル (Speed Dials)] を選択し、スピードダイヤルを強調表示して、 を押します。 	<p>「電話機の電話帳の使用」(P.104)</p> <p>「スピードダイヤル」(P.61)</p>
(Web ページ上で設定された回線表示スピードダイヤル番号の) 電話番号をスピードダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  を押します。 スピードダイヤル  までスクロールします。  または  を押して、コールを発信します。 	<p>「スピードダイヤル」(P.61)</p>
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (異なる回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> [保留 (Hold)] を押します。  を押します。 別の回線までスクロールし、 を押します。 電話番号をダイヤルします。  を押して、コールを発信します。 	<p>「コールの保留と復帰」(P.46)</p>
2 番目の回線でコールを発信する	<ol style="list-style-type: none">  を押して、別の回線までスクロールします。 電話番号をダイヤルします。  を押して、コールを発信します。 	<p>「複数のコール間での切り替え」(P.48)</p>

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ディレクトリ サービス (Directory Services)] > [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します (名前は異なる可能性があります)。 2. キーパッドを使用して名前を入力します。 3. [オプション (Options)] > [送信 (Submit)] を押します。 4. リストの番号キーを押すか、リストまでスクロールします。 5. [ダイヤル (Dial)] または  を押します。 	「ディレクトリ ダイヤリング」 (P.99)
話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに、折返しを使用して通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が鳴っている間に [オプション (Options)] > [折返し (CallBack)] を選択します。 2. 回線を切断します。回線が利用できるようになると、電話機から通知を受けます。 3. 回線が利用できるときに、[ダイヤル (Dial)] を押してコールを発信します。 	システム管理者
スピードダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー回線機能のインジケータを確認します。	「BLF の使用による回線の状態の確認」 (P.70)
プライオリティ (Precedence) コールをかける	<ol style="list-style-type: none"> 1. MLPP アクセス番号を入力します。 2.  を押します。 3. 電話番号をダイヤルします。 4.  を押します。 	「重要なコールの優先順位付け」 (P.73)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.   [パーソナル ディレクトリ (Personal Directory)] を選択してログインします。 2. [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、リストを検索します。 3. [オプション (Options)] > [送信 (Submit)] を押します。 4. リストをスクロールして、 を押します。 	「ディレクトリ ダイヤリング」 (P.99)
課金コードまたはトラッキング コードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号をダイヤルします。 2.  を押します。 3. トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアント識別コード) または Forced Authorization Code (FAC; 強制承認コード) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.   > [EM サービス (EM Service)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログイン情報を入力します。 	「Cisco エクステンション モビリティの使用法」 (P.75)
Push to Talk コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.   > [Push to Talk サービス (Push to Talk Service)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2.  または [通話 (Talk)] を使用して送信します。 3.  または [中止 (Stop)] を押して終了します。 	「Push to Talk サービスの使用」 (P.76)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ファストダイヤルを使用してコールを発信する	<p>(注) ファストダイヤルを使用する前に、システム管理者がこの機能を設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.  > [ファストダイヤルサービス (Fast Dial Service)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. インデックス番号までスクロールするか、インデックス番号を押して、エントリを探します。 3.  を押します。 	

コールへの応答

電話機で複数のオプションが使用できる場合、それらのオプションを使用してコールに応答することができます。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
コールに応答する	 を押します。	「任意のキーを使用して電話機に応答する」(P.89)
着信コールの呼出音を消す	 または  を押します。 コールは呼出音を鳴らさずに続き、応答先に転送されることはありません。	
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する (ハンドセットを使用)	 または  を押します。 押すと、新しいコールに応答し、最初のコールは自動的に保留状態になります。	「複数のコール間での切り替え」(P.48)
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する (Bluetooth ワイヤレスハンドセットを使用)	Bluetooth ワイヤレスハンドセットのマニュアルに記載された手順を参照してください。	「複数のコール間での切り替え」(P.48)
コール待機を使用して応答する	[応答 (Answer)] を押します。	

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
コールをボイス メッセージ システムに直接送信する (ハンドセットを使用)。	[即転送 (iDivert)] を押します。	「ボイス メッセージにアクセスする」 (P.111)
コールをボイス メッセージ システムに直接送信する (Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用)。	Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのコール拒否機能を使用します (正確な機能名は異なる場合があります)。詳細については、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。 (注) システム管理者によって即転送が電話機に設定されている場合、電話機は、コール拒否機能を無視します。	「ボイス メッセージにアクセスする」 (P.111)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークを使用します。	「不審なコールのトレース」 (P.73)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	「自分の電話機でリダイレクトされたコールをピックアップ」 (P.64)
ハンドセットを使用してプライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断して、[応答 (Answer)] または  を押します。	「重要なコールの優先順位付け」 (P.73)
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用してプライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断して、鳴っているコールに応答します。詳細については、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。	「重要なコールの優先順位付け」 (P.73)
呼出音が 1 回または 2 回鳴った後に、自動的に着信コールに接続する	自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。呼出音が 1 回または 2 回鳴ったら、  を押さなくても、コールが自動的にハンドセットまたはヘッドセットに接続されます。	「自動応答の使用」 (P.82)

ヒント

- 任意のボタンを押してコールに応答するには、「[キーパッド設定の変更](#)」 (P.89) を参照してください。
- キーパッドがロックされていても、着信コールに応答することが可能です。
- 着信コールに応答する前にアプリケーションまたはサービスを使用していた場合、コールを終了した後にそれらのアプリケーションまたはサービスが再開されます。

コールの終了

複数のオプションを使用してコールを終了できます。

目的	必要な操作
コールを終了する	 、[終了 (EndCall)]、または[オプション (Options)] > [終了 (EndCall)] を選択します。
1つのコールは切断するが、同じ回線のもう1つのコールは維持する	[終了 (EndCall)]、または[オプション (Options)] > [終了 (EndCall)] を選択します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰できます。コールを保留すると、保留アイコン  がコール表示の発信者 ID の横に表示されます。

保留復帰機能が電話機で有効になっている場合、保留にしたままにしているコールが、特定の時間が経過した後、再び鳴り始めます。このような「復帰」コールは、ユーザが復帰させるまで保留中のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる）を1回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰 (Hold Reversion)」という短いメッセージが表示されます。

目的	必要な操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2. [保留 (Hold)] を押します。 <p>(注) 一般的に、保留機能を使用すると、保留中の相手に対して音楽やビープ音が流されます。</p>
現在の回線にあるコールの保留を解除する (ハンドセットを使用)	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰 (Resume)] を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する (Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用)	Bluetooth ワイヤレス ハンドセットのマニュアルに記載された手順を参照してください。 <p>(注) 回線にアクティブ コールと保留中のコールがある場合、保留中のコールを復帰させるときに、アクティブ コールを終了するか、保留にすることができます。</p>

目的	必要な操作
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">  を押して、別の回線に切り替えます。 [復帰 (Resume)] を押します。 <p>(注) この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。保留になっているコールがもう 1 つある場合、適切なコールまでスクロールして、[復帰 (Resume)] を押します。</p>
共有回線にあるコールをワイヤレス電話機またはデスクの電話機に移動する	<ol style="list-style-type: none"> 共有回線にアクティブ コールがある電話機で、[保留 (Hold)] を押します。 共有回線を使用している別の電話機で、[復帰 (Resume)] を押します。

ヒント

- 一般的に、保留機能を使用すると、保留中の相手に対して音楽やビープ音が流されます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰の警告期間はシステム管理者が決定します。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。電話機またはハンドセットでミュートを使用できます。

目的	必要な操作
ミュートをオンに切り替える	コール中に、電話機の左側にある  を押します。電話スクリーン上部に  アイコンが表示されます。
ミュートをオフに切り替える	 を押します。  アイコンが非表示になります。

複数のコール間での切り替え

1 本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが電話スクリーン上で自動的に強調表示されない場合は、そのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作
同じ回線で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰 (Resume)] を押します。 アクティブなコールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
異なる回線で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、別の回線に切り替えます。2. この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。保留になっているコールがもう 1 つある場合、スクロールして適切なコールを強調表示して、[復帰 (Resume)] を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する (ハンドセットを使用)	 を押すか、他の回線で鳴っているコールがある場合、  を押してその回線に切り替えて、  を押します。 アクティブなコールが保留状態になります。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する (Bluetooth ワイヤレスハンドセットを使用)	最初のコールを保留中にするか、鳴っているコールに応答するときに、そのコールを終了することができます。 詳細については、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。

ヒント

- 電話機には最大 6 つの回線を接続できますが、電話スクリーンに表示されるのは 1 つの回線だけです。他の回線を表示するには、 (回線表示) を押す必要があります。
- 電話機は、1 回線ごとに複数のコールを受けることができますが、1 つの電話機で 24 を超えるコールを受けることはできません。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブ コールから、[オプション (Options)] > [転送 (Trnsfer)] を選択します。 2. 転送先番号をダイヤルします。 3. 再度 [オプション (Options)] > [転送 (Trnsfer)] を選択して転送を完了させるか、[終了 (EndCall)] を選択してキャンセルします。 <p>(注) 電話機でオンフック転送がサポートされている場合、切断によって転送を交互に完了させることができます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する (打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブ コールから、[オプション (Options)] > [転送 (Trnsfer)] を選択します。 2. 転送先番号をダイヤルします。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. 再度 [オプション (Options)] > [転送 (Trnsfer)] を選択して転送を完了させるか、[終了 (EndCall)] を選択してキャンセルします。 <p>(注) 電話機でオンフック転送がサポートされている場合、切断によって転送を交互に完了させることができます。</p>
回線接続を維持することなく、2つの現在のコールを互いに転送する (直接転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. スクロールして、同じ回線上にある任意のコールを強調表示します。 2. [オプション (Options)] > [選択 (Select)] を選択します。 選択したコールのそばに、このアイコンが表示されます。 3. スクロールして、同じ回線上にある別のコールを強調表示します。 4. [オプション (Options)] > [新規コール (DirTrfr)] を選択します。2つのコールが互いに接続し、ユーザがコールからドロップされます。 <p>(注) 発信者との回線接続を維持したい場合、参加を使用します。</p>
コールを自分のボイス メッセージ システムにリダイレクトする	<p>[オプション (Options)] > [即転送 (iDivert)] を選択します。</p> <p>コールが自分のボイス メッセージ システム グリーティングに自動的に転送されます。即転送は、アクティブな、鳴っている、または保留中のコールで使用できます。</p>

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効になっている場合、切断して転送を完了させることも、[オプション (Options)] > [転送 (Trnsfer)] を選択してから切断することも可能です。

- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、[転送 (Transfer)] を再度使用することなく切断すると、コールが保留状態になります。
- [転送 (Transfer)] を使用しても、保留中のコールをリダイレクトできません。転送前にコールの保留を解除するには、[復帰 (Resume)] を選択します。

別の電話番号へのコールの転送

システム管理者が有効にすると、以下のコール転送機能を使用して着信コールを自分の電話機から他の番号へリダイレクトすることができます。

- 無条件のコール転送 (すべてのコールの転送) : 受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送 (無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送) : 条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

すべてのコールの転送機能には電話機またはユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。

目的	必要な操作
プライマリ回線の不在転送を設定する	[オプション (Options)] > [不在 (CFwdAll)] を選択して、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	[オプション (Options)] > [不在 (CFwdAll)] を選択します。
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	以下のインジケータの両方を探します。 <ul style="list-style-type: none"> • プライマリ回線の横の  アイコン。 • ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
リモート操作によって、または使用している電話機のプライマリでない回線に対して、コール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。(「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.115) を参照)。 2. コール転送オプションにアクセスします。(「Web での回線設定の制御」(P.123) を参照)。 <p>(注) プライマリ回線以外の回線でコール転送を有効にした場合、電話機ではコールが転送されていることを確認できません。ユーザが自分でユーザ オプション Web ページの設定を確認する必要があります。</p>

ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセス コードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送できます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。

- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。

サイレントの使用

Do Not Disturb (DND; サイレント) 機能を使用すると、電話機の呼出音だけをオフにしたり、音声と表示による着信コール通知をすべてオフにしたりできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で [サイレント (DND)] と [コール転送 (Call Forward)] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。

- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールだけが自動応答されます。

目的	必要な操作
サイレントをオンにする	<p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オプション (Options)] > [サイレント (DND)] を選択します。 ▶  を押してから、[サイレント (DND)] オプション ボタンを選択してオン () にします。 <p>電話機に「サイレントはアクティブです (Do Not Disturb is active)」というメッセージが表示され、呼び出し音がオフになります。</p>

目的	必要な操作
サイレントをオフにする	<p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オプション (Options)] > [サイレント (DND)] を選択します。 •  を押してから、[サイレント (DND)] オプション ボタンを選択してオフ () にします。
サイレントの設定値をカスタマイズする	<p>サイレントの設定値がユーザ オプション ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.112) を参照してください。 2. ドロップダウン メニューから、[ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 3. 次のオプションを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [サイレント (Do Not Disturb)] : サイレントを有効または無効に設定します。 • [DND オプション (DND Option)] : [コール拒否 (Call Reject)] (音声および表示による通知をオフにする) または [呼出音オフ (Ringer Off)] (呼出音だけをオフにする) を選択します。 • [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] (設定された DND オプションに適用される) : アラートをビープ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし (None)] を選択します (システム管理者が設定した「アラート (Alert)」設定が使用されます)。

会議コールの使用方式

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

会議の各機能の使用方式

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方式で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[会議（Confrn）] ソフトキーを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[参加（Join）] ソフトキーを使用します。
- C 割り込み：共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[C 割込（cBarge）] ソフトキーを使用します。C 割り込み機能を使用できるのは、共有回線を使用する電話機のみです。
- ミートミー：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[ミートミー（MeetMe）] ソフトキーを使用します。

会議機能の使用方式

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	必要な操作
会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. 接続コールから、[オプション（Options）]>[会議（Confrn）] を選択します。2. 参加者の電話番号を入力します。3. コールの接続を待ちます。4. 再度 [オプション（Options）]>[会議（Confrn）] を選択して、参加者を自分のコールに追加します。5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
既存の会議に新しい参加者を追加する	上記の手順を繰り返します。 会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。
会議参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[オプション（Options）]>[参加者（ConfList）] を選択します。 「 会議参加者の表示または削除 」(P.58) を参照してください。

目的	必要な操作
会議への参加を終了する	 、[終了 (EndCall)]、または [オプション (Options)] > [終了 (EndCall)] を選択します。

ヒント

- 各コールが同じ回線にないと、それらのコールを会議に追加できません。各コールが別の回線にある場合、[会議 (Conf)] や [参加 (Join)] を使用する前にそれらのコールを 1 つの回線に転送してください。
- 電話機の設定にもよりますが、会議を開始した後に、自分がその会議から退出すると、その会議が終了してしまう場合があります。これを回避するには、コールを切断する前に会議を転送してください。

参加機能の使用法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	必要な操作
単一の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> アクティブ コールから、▶  を押して、会議に参加させた別のコールを強調表示し、[オプション (Options)] > [選択 (Select)] を選択します。 選択したコールの横に  アイコンが表示されます。 アクティブ コールは自動的に選択されます。 追加するコールごとにこの手順を繰り返します。 選択したコールから、[オプション (Options)] > [参加 (Join)] を選択します。

目的	必要な操作
複数の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブ コールから、[オプション (Options)] > [参加 (Join)] を選択します。 2.  を押して、会議に参加させたいコールの回線を選択します。 次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"> - コールが結合されます。 - 結合したいコールを選択するように促すプロンプトが表示される場合があります。コールを強調表示して、[オプション (Options)] > [選択 (Select)] を選択してから、[オプション (Options)] > [参加 (Join)] を選択して、操作を完了します。 <p>(注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、参加機能を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。</p>
会議参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[オプション (Options)] > [参加者 (ConfList)] を選択します。 「 会議参加者の表示または削除 」(P.58) を参照してください。

ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [オプション (Options)] > [参加 (Join)] を押すと操作が完了するので、便利です。
- 結合が完了すると、発信者 ID が「会議 (Conference)」に変わります。
- [参加 (Join)] ソフトキーまたは [D 転送 (DirTrfr)] ソフトキーを使用して複数の会議コールを結合できる場合があります。この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認してください。

C 割り込みの使用方法

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できます。

目的	必要な操作
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、共有回線のコールを選択します。 2. [オプション (Options)] > [C 割込 (cBarge)] を選択します。 「共有回線の使用」(P.67) を参照してください。

目的	必要な操作
会議参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[オプション (Options)] > [参加者 (ConfList)] を選択します。 「 会議参加者の表示または削除 」(P.58) を参照してください。

ミーティングの使用法

ミーティング会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作
ミーティング会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者からミーティング電話番号を取得します。 2. 参加者に番号を配布します。 3. 会議を開始する準備ができれば、[オプション (Options)] > [ミーティング (MeetMe)] を選択します。 4. ミーティング会議番号をダイヤルします。 5.  を押します。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加できます。 <p>(注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
ミーティング会議に参加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミーティング会議番号をダイヤルします (この番号は会議の開催者から提供されます)。 2.  を押します。 <p>(注) 会議の開催者の参加よりも前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。</p>
ミーティング会議を終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から保護されているミーティング会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス (Not Authorized)」というメッセージが表示されます。詳細については、「[安全なコールの送受信](#)」(P.71) を参照してください。

会議参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

目的	必要な操作
会議参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、アクティブな会議を選択します。2. [オプション (Options)] > [参加者 (ConfList)] を選択します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
会議の参加者のリストを更新する	会議リストが表示されている状態で、[オプション (Options)] > [更新 (Update)] を選択します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク (*) の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議リストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[オプション (Options)] > [削除 (Remove)] を選択します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議リストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[オプション (Options)] > [ドロップ (RmLstC)] を選択します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議 (Conference)」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	「会議機能の使用法」(P.54) を参照してください。
会議への参加を終了する	 、[終了 (EndCall)]、または [オプション (Options)] > [終了 (EndCall)] を選択します。

インターコム コールの発信と受信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードで、コールに自動応答する通話先の電話機に対して、インターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。

- マイクロフォンがミュートされているインターコム回線を選択して、発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- [終了 (EndCall)] ソフトキーを押して、インターコム コールを終了させる。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- インターコム回線を選択し、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカのいずれかを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1 つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 同時に使用できるインターコム回線は 1 つだけです。
- アクティブなコールがモニタまたは記録されているときは、インターコム コールを受信または発信できません。
- インターコム コールは保留にできません。

ヒント

エクステンション モビリティ プロファイルを使用して毎日電話機にログインする場合、システム管理者が、自分のエクステンション モビリティ プロファイルにインターコム機能が含まれるように設定していることを確認してください。

目的	必要な操作
事前設定したインターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押します。 2.  (インターコム回線) を選択して、通話相手のインターコム番号にダイヤルします。 インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押します。 2.  (インターコム回線) を選択して、通話相手のインターコム番号にダイヤルします。 インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
インターコム コールを受信する	<p>インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一方向のオーディオでメッセージを聞きます。 •  を押し、インターコム回線を選択して、発信者と会話をします。 • [終了 (EndCall)] を押して、コールを終了させます。

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

スピードダイヤル

スピードダイヤルを使用すれば、ホットキーを押したり、リストから選択したりして、コールを発信できます。設定に応じて、電話機で、次のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- 「スピードダイヤルホットキー」(P.61)
- 「回線表示スピードダイヤル」(P.62)
- 「短縮ダイヤル」(P.62)
- 「ファストダイヤル」(P.62)

スピードダイヤルホットキー

スピードダイヤルホットキーを使用すれば、ご使用の電話機にローカルで保存されている電話帳の連絡先番号を素早くダイヤルすることができます。電話機から最大 99 のスピードダイヤルホットキーを設定できます。コールを発信するには、スピードダイヤルホットキーを押し続けるか、[ディレクトリ (Directory)] > [スピードダイヤル (Speed Dials)] から番号を選択するだけです。

メイン電話帳スクリーンに、割り当てられている電話機の種類に基づいて、以下のスピードダイヤルが表示されます。

 職場の電話

 家の電話

 携帯電話

 その他の電話

電話帳の連絡先の詳細には、スピードダイヤルアイコン () が、スピードダイヤルホットキーに割り当てられている番号の下に表示されます。

詳細については、「スピードダイヤルとファストダイヤルの使用」(P.62) と「電話機の電話帳の使用」(P.104) を参照してください。

回線表示スピードダイヤル

回線表示スピードダイヤルを使用すれば、ローカルの電話帳には保存されていない番号を素早くダイヤルすることができます。回線表示スピードダイヤル番号は、ユーザ オプション **Web** ページから設定します。電話機には、最大 6 つの番号（回線とスピードダイヤル番号の組み合わせ）を表示できます。

コールを発信するには、回線表示からスピードダイヤル（）を選択します。

詳細については、「[スピードダイヤルとファストダイヤルの使用](#)」(P.62) と「[Web でのスピードダイヤルの設定](#)」(P.117) を参照してください。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを使用すれば、短縮ダイヤルコードを使用して番号をダイヤルすることができます。短縮ダイヤルは、ユーザ オプション **Web** ページから設定します。

コールを発信するには、短縮ダイヤルコードおよび [短縮 (AbbrDial)] ソフトキーを使用します。

詳細については、「[スピードダイヤルとファストダイヤルの使用](#)」(P.62) と「[Web でのスピードダイヤルの設定](#)」(P.117) を参照してください。

ファストダイヤル

ファストダイヤルを使用すれば、ファストダイヤルリストからコールを発信することができます。最初に、ユーザ オプション **Web** ページから、ファストダイヤルサービスに参加して、ファストダイヤルコードを設定する必要があります。同 **Web** ページでは、ファストダイヤルコードを個人アドレス帳のエントリに追加することも可能です。

コールを発信するには、ファストダイヤルサービス オプションを選択し、ファストダイヤルリストから選択します。

詳細は、「[スピードダイヤルとファストダイヤルの使用](#)」(P.62)、「[Web でのスピードダイヤルの設定](#)」(P.117)、および「[Web でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」(P.118) を参照してください。



(注) スピードダイヤル機能は、システム管理者に設定してもらうことができます。

スピードダイヤルとファストダイヤルの使用

この機能を使用する前に、電話帳（「[電話機の電話帳の使用](#)」(P.104) を参照）、またはユーザ オプション **Web** ページ（「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」(P.112) を参照）から、スピードダイヤル機能を設定する必要があります。

目的	必要な操作
<p>スピードダイヤルホットキーを使用して、電話帳の連絡先にコールを発信する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話帳からスピードダイヤルホットキーを設定します。 2. 次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - スピードダイヤルホットキーを約2秒間押し続けます。 <p>(注) 2桁の番号をダイヤルする場合、1桁目を入力してから、2桁目を約2秒間押し続けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> -  > [スピードダイヤル (Speed Dials)] を選択して、スピードダイヤルを強調表示し、 を押します。
<p>スピードダイヤルの番号を使用して、(電話帳にはない)他の番号にコールを発信する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザオプション Web ページからスピードダイヤルの番号を設定します。 2. コールを発信するには、 を押します。 3. スピードダイヤルの番号とそのラベルまでスクロールして、 を押します。 <p>(注) 回線表示に電話番号と、その後、 で特定されるスピードダイヤルの番号が表示されます。6つの項目(回線とスピードダイヤル)を表示することができます。</p>
<p>短縮ダイヤルを使用する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザオプション Web ページから短縮ダイヤルコードを設定します。 2. コールを発信するには、短縮ダイヤルコードを入力します。 3. [オプション (Options)] > [短縮 (AbbrDial)] を選択します。
<p>ファストダイヤルを使用する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザオプション Web ページから、ファストダイヤルサービスに参加して、ファストダイヤルコードを設定します。「ユーザオプション Web ページへのアクセス」(P.112)を参照してください。 2. コールを発信するには、電話機で  > [ファストダイヤルサービス (Fast Dial Service)] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。 3. リストをスクロールして、 を押します。

自分の電話機でリダイレクトされたコールをピックアップ

コールピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中となっているコールを、自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コールピックアップを使用できます。

目的	必要な操作
自分のコールピックアップグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">[オプション (Options)] > [ピックアップ (PickUp)] を選択します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。電話機でコールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。
自分のコールピックアップグループ外の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">[オプション (Options)] > [Gピックアップ (GPickUp)] を選択します。グループピックアップ番号を入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。
自分のグループまたは関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">[オプション (Options)] > [他 Grp (OPickUp)] を選択します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。
特定の回線（回線番号）で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">[オプション (Options)] > [Gピックアップ (GPickUp)] を選択します。ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。

ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。

- [G ピック (GPickUp)] を選択して、回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします (回線が使用可能な場合)。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線のコールをピックアップしたい場合、最初に
 - ▶  (回線表示) を押して目的の回線に切り替えてから、次に [オプション (Options)] を選択して [コールピックアップ (Call PickUp)] ソフトキーを選択します。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示 (あるいはその両方) によるアラートを受信する場合があります。
- BLF ピックアップ機能を電話機で使用する場合は、「[BLF の使用による回線の状態の確認](#)」(P.70) を参照してください。

パークされたコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機 (同僚のデスクや会議室の電話機など) でコールを取得できます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- コールパーク : [パーク (Park)] ソフトキーを使用してコールを保存します。コールが保存されるコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクトコールパーク : [転送 (Transfer)] ソフトキーを使用して、ダイヤルまたはスピードダイヤルする使用可能なダイレクトコールパーク番号にコールを転送します。ダイレクトコールパーク番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクトコールパーク番号にダイヤルまたはスピードダイヤルします。スピードダイヤルは、ダイレクトコールパーク番号として、また、そのダイレクトコールパーク番号が使用されているか空きなのかをモニタすることを目的として使用することができます。

目的	必要な操作
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中、オプション (Options)] > [パーク (Park)] を選択します。 2. 電話スクリーンに表示されたコールパーク番号を書き留めます。 3.  を押します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。

目的	必要な操作
アクティブなコールをダイレクト コール パーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に [転送 (Transfer)] を押します。 2. パーク未使用アイコン  が付いたスピードダイヤル番号を選択して、ダイレクト コール パーク番号をスピードダイヤルします。 パーク使用中アイコン  が付いたスピードダイヤル番号は、そのダイレクト コール パーク番号が使用できないことを示します。 (注) スピードダイヤル番号に対して BLF が設定されていない場合、アイコンは、ダイレクト コール パーク番号が使用可能かどうかを示しません。 3. もう一度 [転送 (Transfer)] を押して、コールの保存を終了します。
パークされたコールをダイレクト コール パーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィックスを入力し、ダイレクト コール パーク番号にダイヤルします。

ヒント

パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ハント グループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハント グループのメンバーになっている可能性があります。ハント グループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハント グループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。電話機から離れているときは、ハント グループからログアウトすることによって、ハント グループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	必要な操作
ハント グループからログアウトして一時的にハント グループのコールをブロックする	[オプション (Options)] > [ハント (HLog)] を選択します。電話スクリーンに「ハント グループからログアウト (Logged out of Hunt Group)」と表示されます。
ログインしてハント グループのコールを受信する	[オプション (Options)] > [ハント (HLog)] を選択します。

ヒント

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは引き続き着信します。

共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有回線の使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で 1 つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

共有回線について

リモートで使用

回線を共有している別の電話機に接続コールがあり、プライバシーが無効になっている場合、「リモートで使用 (In Use Remote)」というメッセージと  アイコンが電話機に表示されます。「リモートで使用 (In Use Remote)」というメッセージまたは  アイコンが表示されていても、共有回線上で通常通りコールを発信したり、受信したりできます。

コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます（例外については、「[プライバシー](#)」を参照してください）。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、[割り込み (Barge)] または [C 割込 (cBarge)] を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加できます。「[割り込みの使用による自分自身の共有回線のコールへの追加](#)」(P.68) を参照してください。

- [割り込み (Barge)] : 共有回線のコールを、組み込み割り込みが有効になっている IP 電話に結合できます。
- [C 割込 (cBarge)] : 共有回線のコールを、任意の IP 電話に結合し、そのコールを会議に変換できます。

プライバシー

ワイヤレス IP 電話は、デフォルトでプライバシーが有効になっています。プライバシーが有効になっている場合、回線を共有している同僚がこちら側のコールに関する情報を見ることはできません。回線を共有している同僚に対して情報を表示したい場合、自分の電話機に設定されているプライバシー機能を無効にする必要があります。「[他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止](#)」(P.69) を参照してください。



(注) 電話機は、1 つの共有回線に最大 24 のコールをサポートできます。

割り込みの使用による自分自身の共有回線のコールへの追加

割り込み機能（[C 割込（cBarge）] または [割り込み（Barge）]）を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます。コールは、非プライベート コールである必要があります。「[共有回線について](#)」（P.67）を参照してください。

割り込み機能について

電話機の設定によっては、[割り込み（Barge）] または [C 割込（cBarge）] を使用して、共有回線の非プライベート コールに自分自身を追加できます。

- [C 割込（cBarge）] を使用すると、コールを標準の会議に切り替え、新しい参加者を追加できます。標準の会議の詳細については、「[会議コールの使用方法](#)」（P.54）を参照してください。
- [割り込み（Barge）] を使用すると、コールに自分自身を追加することはできますが、コールを会議に切り替えることや、新しい参加者を追加することはできません。

割り込み機能の使用方法

次の表に、割り込み機能（[C 割込（cBarge）] または [割り込み（Barge）]）を使用して共有回線のコールに自分自身を追加する方法を示します。

目的	必要な操作
共有回線が使用中であることを確認する	 アイコンと「リモートで使用中（In Use Remote）」というメッセージを見つけます。
共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none">1. リモートで使用中のコールを強調表示します。回線表示を使用する必要がある場合があります。2. [オプション（Options）] > [割り込み（Barge）] または [C 割込（cBarge）] を選択します。
会議の参加者を表示する	「 会議参加者の表示または削除 」（P.58）を参照してください。
割り込みコールを残す	[終了（EndCall）] または  を選択します。 割り込みを使用した後に切断する場合、他の参加者に切断トーンが送信され、元のコールは継続します。 C 割込を使用した後に切断する場合、コールは会議コールのままです（ただし、少なくとも 3 人の参加者が回線に残っている必要があります）。

ヒント

- コールに割り込むと、他の参加者に対して自分の存在を知らせるピープ音が鳴ります。[C 割込 (cBarge)] を使用した場合は、他の参加者に短い割り込み音が聞こえ、電話機のスクリーンが切り替わって会議の詳細が表示されます。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- [割込み (Barge)] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用し、回線を共有している他者が自分のコールを表示したり自分のコールに割り込んだりする（コールに参加する）のを防止することができます。

目的	必要な操作
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション (Options)] > [非通知 (Private)] を選択します。 2. プライバシーがオンになっていることを確認するには、電話番号の横にある  (プライバシー有効アイコン) を確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [オプション (Options)] > [非通知 (Private)] を選択します。 2. プライバシーがオフになっていることを確認するには、電話番号の横にある  (プライバシー無効アイコン) を確認します。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

BLF の使用による回線の状態の確認

Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 機能を使用すれば、電話機のスピードダイヤル、履歴、またはディレクトリ リストに関連付けられた電話回線の状態を確認できます。BLF ピックアップを使用すると、モニタ対象の回線で呼び出し中のコールに応答できます。どの BLF 機能を電話機に設定するかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 回線は使用中です。 回線はアイドルの状態です。 回線はサイレント状態です。 回線は呼び出し中です。 この回線では、BLF インジケータは使用できません。
スピードダイヤル回線に表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 回線は使用中です。 回線はアイドルの状態です。 回線はサイレント状態です。 回線は呼び出し中の状態です (BLF ピックアップのみ)。 この回線では、BLF インジケータは使用できません。
BLF ピックアップを使用して、同僚の電話機で呼び出し中のコールに応答する	<p>呼出中の回線を強調表示して、 ([選択 (Select)] ボタン) を押します。コールが自分の電話機にリダイレクトされます。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、自動的にコールが接続されます。サポートしていない場合、ユーザが自分でコールに応答するようにユーザ自身の電話機が鳴ります。</p> <p>(注) モニタ対象の回線が呼び出し中でないときに [オプション (Options)] > [ピック (Pickup)] または [G ピック (GPickUp)] を選択すると、電話機はその回線番号にスピードダイヤルします。</p>

ヒント

- モニタ対象の回線に呼び出し中のコールがあるときに、電話機がオーディオ インジケータを再生して通知する場合があります (BLF ピックアップのみ)。
- BLF ピックアップは、呼び出し中のコールの中で最も古いコールから応答します (モニタ対象の回線に呼び出し中のコールが複数ある場合)。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- *認証されたコール*：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- *暗号化されたコール*：電話機では、Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- *保護されたコール*：電話機は、暗号化されたオーディオ（会話）を別の電話機との間で送受信しています。保護されたコールは、暗号化されたコールと同等のセキュリティを確保できるだけでなく、より高度なセキュリティも実現します。コールが両端で保護されている場合、会話の最初にセキュリティ トーンが再生されます。保護されたコールが設定された場合、会議コール、共有回線、エクステンション モビリティ、および回線をまたいで参加など一部の機能が使用できません。保護されたコールは認証されません。

- ノンセキュアコール：参加している電話機または接続の少なくとも1つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機を検証できません。

目的	必要な操作
<p>コールのセキュリティレベルを確認する</p>	<p>コールアクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティアイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <p> 認証されたコールまたは会議</p> <p> 暗号化されたコールまたは会議</p> <p>コールが保護されていない場合、いずれのセキュリティアイコンも表示されません。</p>
<p>接続の相手側の電話機も安全であることを確認する</p>	<p>暗号化を示す鍵のマークのアイコンが表示されていること、およびコールの最初にセキュリティトーンが聞こえることを確認します。</p> <p>電話機に暗号化されたコールが設定されると、鍵のマークのアイコンが表示されます。ただし、会話が保護されるのは、セキュリティトーンがコールの最初に再生される場合だけです。セキュリティトーンの再生は、コールの両端が保護されていることを示します。保護されていない電話機にコールが接続されると、セキュリティトーンは再生されません。</p>
<p>社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する</p>	<p>システム管理者にお問い合わせください。</p>



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に **Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID)** 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	必要な操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[オプション (Options)] > [迷惑呼 (MCID)] を選択します。 電話機でトーンが再生され、「迷惑呼が成功しました (MCID successful)」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への **Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)** の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- **Precedence** : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- **Preemption** : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	必要な操作
発信コールのプライオリティ レベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音（通常より速い）または特別なコール待機音が鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティ レベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。

目的または状態	必要な操作
コールのプライオリティ レベルを確認する	<p>電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">  プライオリティ コール  中程度のプライオリティの（即時）コール  プライオリティの高い（フラッシュ）コール  プライオリティの最も高い（フラッシュ オーバーライド）コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール <p>より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常（ルーチン）です。</p>
プライオリティのより高いコールを受け入れる	<p>通常どおりにコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブなコールを終了します。</p>
コール中に連続したトーンが聞こえる	<p>自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。</p>

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - [ピック (PickUp)] を使用してコールに応答する
- MLPP を使用すると、サイレント機能が無効になります。

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話機は電話回線、機能、設定されたサービス、Web ベースの設定などのユーザ プロファイルを採用します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

目的	必要な操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [EM サービス (EM Service)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力します。 3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [EM サービス (EM Service)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログアウトの指示があったら、[はい (Yes)] を押します。

ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- (ユーザ オプション Web ページから) EM プロファイルに対して行った変更が反映されるのは、次回電話機の EM にログインするときです。
- 電話機でのみ制御される設定は、EM プロファイルでは維持されません。

アプリケーション ボタンの使用

アプリケーション ボタン  (電話機の左側) を使用して、電話機で、Push to Talk やその他のサービスなどのアプリケーションを開始することができます。

システム管理者がアプリケーション ボタンをどのように設定するかにより、同ボタンは、メイン画面からのみ使用できるか、すべてのメニューまたはサービスから使用できるか、あるいは電話機がロックされていても使用できる場合があります。

アプリケーション ボタンは、押した後すぐにアプリケーションが起動されるように設定することも、数秒間押し続けた後に起動されるように設定することもできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Push to Talk サービスの使用

Push to Talk サービスを使用すれば、組織のメンバーと、(双方向ラジオと同じく) 即座に通信を行うことができます。システム管理者が Push to Talk サービスを設定し、その後、自分でサービスに登録する必要があります。

目的	必要な操作
Push To Talk サービス	Cisco Unified CallManager 4.3 以降を使用するシステムについては、「電話サービスへの登録」(P.113) を参照してください。 Cisco Unified Communications Manager Release 5.0 以降を使用するシステムについては、「Web での電話機サービスの設定」(P.121) を参照してください。
Push To Talk サービスを使用する	<ol style="list-style-type: none"> [Push to Talk] を選択します (名前は異なる場合があります)。  アイコンが表示されているとき、Push to Talk サービスはアクティブになっています。 ボタンを使用し、サービスがどのように設定されているかに基づいて、伝送を開始または終了します。[通話 (Talk)] および [中止 (Stop)] を使用して、伝送と聴取を切り替えます。 <p>(注) システム管理者が、Push to Talk サービスの使用方法に関する詳細を提供します。</p>

バーコード スキャナの使用

システム管理者は、電話機の上部にあるスキャン モジュールによって 2D バーコードをスキャンするように Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G を設定することができます。電話機は、Java MIDlet を使用して、バーコードの日付によって、値段、場所、およびインベントリ情報を表示します。バーコード スキャナの使用については、システム管理者に問い合わせてください。



(注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7926G では、ファームウェア バージョン 1.4 (1) 以降を実行する必要があります。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用

電話機は、モバイルハンドセット、スピーカフォンとして、またはヘッドセット（有線または Bluetooth ワイヤレス）と共に使用することができます。

目的	必要な操作
ハンドセットを使用する	 を押します。コールを終了する場合は、  を押します。
有線ヘッドセットを使用する	<p>ヘッドセットのポート カバー  を開けて、ヘッドセットのコネクタをヘッドセットのポートに差し込みます。  アイコンが、電話機のステータス行に表示されます。通常通り、コールを発信したりコールに応答したりします。</p> <p>ただし、自動応答を使用する場合、「自動応答の使用」(P.82) を参照してください。</p> <p>ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。</p> <p>ヘッドセットが電話機に接続されているとき、ヘッドセットのオーディオはアクティブのままです。</p>
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話機の Bluetooth 設定を有効にします。 2. Bluetooth デバイスのリストをスキャンします。 3. Bluetooth ヘッドセットと電話機を選択して、ペア化します。 <p>詳細については、「Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用」(P.78) を参照してください。</p>

目的	必要な操作
スピーカ モードを使用する	<p> アイコンが表示されるまで、 を押し続けます。</p> <p>(注) コールを発信する前、またはコール中にスピーカフォンをアクティブにできます。オフにするまでは、後のコールに関しても、スピーカ モードはアクティブなままです。</p> <p>(注) 電話機がデスクトップ チャージャに置かれていたり、有線ヘッドセットに接続されていたりしても、(電話機上の)スピーカフォンをアクティブにできます。</p>
コール中に (ハンドセットから) スピーカに切り替える	<p> アイコンが表示されるまで、 を押し続けます。</p> <p>再びハンドセットに切り替えるには  を押し続けます。</p>
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中に、 を押して、ハンドセット、スピーカ、またはヘッドセットの音量を調整します。</p> <p>(注) 電話機の電源をオフにした後、新しい音量レベルは後のコールに対しても維持されます。</p>

ヒント

ヘッドセットのプラグを抜く、または、デスクトップ チャージャから電話機を外すと、電話機は、一般的には、自動応答やインターコム コールなどの、着信コールに対してスピーカフォンを使用する機能の、スピーカ モードに戻ります。

ヘッドセットの取得

電話機では、2.5 mm の 3 バンド/4 コネクタを持つヘッドセット ジャック タイプがサポートされています。ヘッドセットの購入については、「[ヘッドセットについて](#)」(P.17) を参照してください。

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットの使用

電話機では、Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットを使用できます。スキャン、ペア化、ペア解除などのタスクを実行する前に、電話機で Bluetooth 設定を有効にします。



(注) Bluetooth ヘッドセットと電話機をペア化する前に、ヘッドセットのマニュアルの手順に従って、ヘッドセットの操作を有効にしてください。

目的	必要な操作
電話機で Bluetooth を有効化/無効化する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [Bluetooth] を選択します。 2. [Bluetooth] を強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 3. [有効 (Enable)] または [無効 (Disable)] を選択してから、[保存 (Save)] を押します。 有効にすると、Bluetooth 有効アイコン  が表示されます。無効にすると、アイコンが非表示になります。 <p>(注) 電話機で Bluetooth を有効にしないと、スキャン、ペア化、ペア解除などのタスクを実行できません。</p>
Bluetooth デバイスのスキャン	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [Bluetooth] > [デバイスリスト (Device List)] を選択します。 2. [スキャン (Scan)] を押します。デバイスの一覧が表示されます。 <p>(注) スキャンが完了するまで数秒かかる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. デバイスを再スキャンするには、[スキャン結果 (Scan Results)] から [再スキャン (Rescan)] を押します。

目的	必要な操作
Bluetooth ヘッドセットと電話機のペア化	<ol style="list-style-type: none"> 1. [スキャン結果 (Scan Results)] リストから、Bluetooth ヘッドセットを選択して、[ペア化 (Pair)] を押します。 2. プロンプトが表示されたら、Bluetooth パスキーを入力してから、  (選択) または [オプション (Options)] > [OK] を押します。 <p>(注) Bluetooth デバイスのマニュアルから Bluetooth パスキーを取得します。ペア化は、1 分以内に完了する必要があります。完了しないとペア化は失敗します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. ペア化が成功したら、新しくペア化されたヘッドセットが、[デバイス リスト (Device List)] に追加され、電話機に接続されます (古い Bluetooth 接続が、別のデバイスと電話機との間に存在しない場合)。古い接続が存在する場合、最初に、電話機から他のデバイスをペア解除および接続解除してください。 Bluetooth デバイスが接続されていることを示すアイコン  が表示され、デバイス名の横にチェックマークが表示されます。 4. ペア化が失敗した場合、[戻る (Back)] を押して再試行してください。
すでにペア化されている (ただし接続されていない) Bluetooth ヘッドセットを電話機に接続する	<p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドセットをタップして、接続要求を電話機に送信します。 •  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [Bluetooth] > [デバイス リスト (Device List)] を選択して、ヘッドセットを強調表示し、[オプション (Options)] > [接続 (Connect)] を押します。
電話機から Bluetooth ヘッドセットをペア解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [Bluetooth] > [デバイス リスト (Device List)] を選択します。 2. リストからヘッドセットを選択し、[オプション (Options)] > [ペア解除 (Unpair)] を押します。 3. [はい (Yes)] を押して確定します。 ヘッドセットが電話機から接続解除され、[デバイス リスト (Device List)] から削除されます。

目的	必要な操作
電話機から Bluetooth ヘッドセットを接続解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [Bluetooth] > [デバイス リスト (Device List)] を選択します。 2. リストからヘッドセットを選択し、[オプション (Options)] > [接続解除 (Disconn)] を押します。 3. [はい (Yes)] を押して確定します。 ヘッドセットは電話機から接続解除されますが、[デバイス リスト (Device List)] には残ります (デバイス名の横にチェックマークは表示されません)。
コール中に Bluetooth ヘッドセットからスピーカまたはハンドセットに切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押し続けます。[オーディオパスの選択 (Select Audio Path)] メニューが表示されます。 2. [スピーカ (Speaker)] または [ハンドセット (Handset)] を選択します。 3. 再度モードを切り替えるには、 を押し続け、別の音声モードを選択します。 <p>(注) コールの終了後、電話機は、コール中に使用された最後の音声モードのままになります。</p>
コール中にスピーカまたはハンドセットから Bluetooth ヘッドセットに切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押し続けます。[オーディオパスの選択 (Select Audio Path)] メニューが表示されます。 2. [Bluetooth] を選択します。 <p>(注) 有線ヘッドセットが電話機に接続されている場合、Bluetooth が接続されていることを示すアイコンが表示されていても、[Bluetooth] オプションは選択できません。Bluetooth ヘッドセットを使用するには、最初に有線ヘッドセットのプラグを抜く必要があります。</p>

ヒント

- 1 度に電話機に接続できる Bluetooth デバイスは 1 つだけです。
- 接続を維持するためには、Bluetooth デバイスが電話機の周囲 10 m 以内にある必要があります。
- 電話機の電源がオフになるか、Bluetooth が電話機で無効になると、Bluetooth デバイスは接続解除されます。
- すでに電話機とペア化されているデバイスを、別の Bluetooth デバイスへの接続に使用する場合は、最初にそのデバイスをペア解除してから、再度電話機にペア化する必要があります。

- **Bluetooth** ヘッドセットが接続解除の状態になった（電話機の圏外になる、または電話機のバッテリーのパワーが低下する）場合、圏内に入るか、バッテリーが再充電されると、自動的に再接続されます。再接続されない場合、**Bluetooth** ヘッドセットを 1 回タップすれば、接続を再確立することができます。
- **Bluetooth** ヘッドセットが省電力モードであり、電話機からの接続解除の状態になっている場合、接続を再確立するには、1 回ヘッドセットをタップしてヘッドセットを「起こす」必要がある場合があります。

自動応答の使用

高い音量の着信コールを受信するか、他の人の代理でコールを処理する場合、自動応答を使用することができます。システム管理者が、スピーカモードまたはヘッドセットを使用するように、自動応答を設定します。

目的または状態	必要な操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>ヘッドセットモードをアクティブのままにするには、コール中でなくても、ヘッドセットのプラグが電話機に挿入されていることを確認してください。</p> <p>電話機が、ヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されている場合、コールが自動的に応答されるのは、有線ヘッドセットを示す  アイコンまたは Bluetooth が有効になっていることを示す  アイコンが電話ステータス行に表示されている場合だけです。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

電話機の設定の変更方法

サウンド設定、音量レベル、表示オプション、およびキーパッド設定を調整することによって、ワイヤレス IP 電話を個人設定できます。設定メニューからネットワーク プロファイルを表示することもできます。

呼出音のカスタマイズ

回線ごとに呼出音の種類を選択することによって電話機をカスタマイズできます。

目的	必要な操作
各回線の呼出音設定を表示する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [サウンド設定 (Sound Settings)] を選択します。2. [呼出音 (Ring Tone)] > [現在の設定 (Current Settings)] を選択します。3. [表示 (View)] を押して、現在の回線設定を表示します。
回線の呼出音を変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [サウンド設定 (Sound Settings)] を選択します。2. [呼出音 (Ring Tone)] > [現在の設定 (Current Settings)] を選択します。3. [表示 (View)] を押して、現在の回線設定を表示します。4. 回線を選択します。 <p>(注) 回線を選択するには、項目の番号キー 、ボタン、または [変更 (Change)] ソフトキーを押します。</p> <ol style="list-style-type: none">5. 選択した回線で呼出音までスクロールして、[再生 (Play)] を押し、呼出音のサンプルを聞きます。6.  を押すと、 アイコンが選択した呼出音の横に表示されます。7. [オプション (Options)] > [保存 (Save)] を選択して、変更を行うか、[オプション (Options)] > [キャンセル (Cancel)] を選択します。

目的	必要な操作
呼出音を回線に割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [サウンド設定 (Sound Settings)] を選択します。 2. [呼出音 (Ring Tone)] > [使用可能な呼出音 (Available Ring Tones)] を選択します。 3. 選択した回線で呼出音までスクロールして、[再生 (Play)] を押し、呼出音のサンプルを聞きます。 4. [オプション (Options)] > [適用 (Apply)] を選択し、呼出音を適用する回線を選択します。  選択した回線の横に、このアイコンが表示されます。 5. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。
電話機の呼出方法を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [サウンド設定 (Sound Settings)] > [アラートパターン (Alert Pattern)] を選択します。 2. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [呼出音のみ (Ring Only)] • [バイブレーションのみ (Vibrate Only)] • [マナー (Silent)] • [バイブレーションの後に呼出音 (Vibrate, Then Ring)] • [バイブレーションと呼出音 (Vibrate And Ring)]  アイコンが、選択した項目の横に表示されます。 3. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。 <p>(注) この変更は、ハンドセットにのみ適用され、デスクトップチャージャには適用されません。</p>

ヒント

- ユーザ オプション Web ページからは、ワイヤレス IP 電話の呼出音設定を変更できません。
- 設定メニューに戻るには、変更内容を保存した後に [戻る (Back)] を押すか、 を押して、メイン画面に戻ります。

音量設定のカスタマイズ

電話機の呼出音およびスピーカの音量設定を調整できます。

目的	必要な操作
呼出音の音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [サウンド設定 (Sound Settings)] > [音量 (Volumes)] を選択します。2. [鳴らす (Ring)] を選択します。 <p>(注) 呼出音を選択するには、項目の番号キー、 ボタン、または [変更 (Change)] ソフトキーを押します。</p> <ol style="list-style-type: none">3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げて、呼出音の音量サンプルを聞きます。4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。
スピーカの音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [サウンド設定 (Sound Settings)] > [音量 (Volumes)] を選択します。2. [スピーカ (Speaker)] を選択します。3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げます。4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。
電話機の音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [サウンド設定 (Sound Settings)] > [音量 (Volumes)] を選択します。2. [ハンドセット (Handset)] を選択します。3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げます。4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。
ヘッドセットの音量レベルを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [サウンド設定 (Sound Settings)] を選択します。2. [ヘッドセット (Headset)] を選択します。3.  を押して音量を上げるか、 を押して音量を下げます。4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。

目的	必要な操作
呼出音を鳴らすデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [サウンド設定 (Sound Settings)] を選択します。 2. [呼出音出力 (Ring Output)] を選択します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ヘッドセット (Headset)] • [スピーカ (Speaker)] (デフォルト設定) • [ヘッドセットとスピーカ (Headset and Speaker)]  アイコンが、選択した項目の横に表示されます。 4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。呼出音出力は、有線ヘッドセットにのみ適用され、Bluetooth ヘッドセットには適用されません。

電話スクリーンのカスタマイズ

左ソフトキー（電話機がアイドル状態の時）、電話スクリーンの明るさ、および電話スクリーンの言語をカスタマイズできます。

目的	必要な操作
電話帳を開くように左ソフトキーを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [メニューのカスタマイズ (Customize Home Page)] を選択します。 2. [変更 (Change)] を押します。 3. [電話帳 (Phone Book)] を選択します。 4. [保存 (Save)] を押します。電話がアイドル状態になると、左ソフトキーが「電話帳 (Ph Book)」と表示されます。
メッセージにアクセスするように左ソフトキーを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [メニューのカスタマイズ (Customize Home Page)] を選択します。 2. [変更 (Change)] を押します。 3. [メッセージ (Message)] を選択します。 4. [保存 (Save)] を押します。電話がアイドル状態になると、左ソフトキーが「メッセージ (Message)」と表示されます。

目的	必要な操作
電話の画面の明るさを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [画面設定 (Display Settings)] を選択します。 2. [画面の明るさ (Display Brightness)] を強調表示してから、 か、[変更 (Change)] を押します。 3.  を明るさを上げるか、 を押して明るさを下げます。 4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。
画面の表示時間を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [画面設定 (Display Settings)] を選択します。 2. [バックライトオフ (Display Timeout)] を強調表示してから、 か、[変更 (Change)] を押します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 10 秒 • 30 秒 (デフォルト設定) • 1 分 • 2 分 4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。 <p>(注) 表示設定時間が過ぎると、10 秒間画面が薄暗くなってから、明かりが消えます。</p>
サービス カバレッジの LED 表示の変更	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [画面設定 (Display Settings)] を選択します。 2. [電波状態を LED で表示 (LED Coverage Indicator)] を強調表示してから、 または [変更 (Change)] を押します。 3. 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [有効 (Enable)] (デフォルト設定) • [無効 (Disable)] 4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。(「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.112) を参照)。 2. 言語設定を変更します。

目的	必要な操作
フォント サイズを変更する	<ol style="list-style-type: none"> ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [画面設定 (Display Settings)] を選択します。 [フォントサイズ (Font Size)] を強調表示してから、 または [変更 (Change)] を押します。 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> [デフォルト (Default)] (デフォルト設定) [拡大 (Increased)] [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。

キーパッド設定の変更

自動的にロックしたり、呼出音を鳴らしたり、コールに応答するようにキーパッドを設定することができます。詳細については、以下のセクションを参照してください。

- 「任意のキーを使用して電話機に応答する」(P.89)
- 「自動的にロックされるようにキーパッドを設定」(P.90)
- 「キーパッド操作音の変更」(P.92)

任意のキーを使用して電話機に応答する

任意のキーを使用してコールに応答できるように電話機を設定できます。

目的	必要な操作
任意のキーを押してコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [キーパッド設定 (Keypad Settings)] を選択します。 [任意のキーによる応答 (Any Key Answer)] を選択します。 [有効 (Enable)] を選択します。 [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。 <p>(注) [任意のキーによる応答 (Any Key Answer)] オプションの下に、[有効 (Enabled)] と表示されます。</p>

目的	必要な操作
[任意のキーによる応答 (Any Key Answer)] オプションを無効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [キーパッド設定 (Keypad Settings)] を選択します。 2. [任意のキーによる応答 (Any Key Answer)] を選択します。 3. [無効 (Disable)] を選択します。 4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。 <p>(注) [任意のキーによる応答 (Any Key Answer)] オプションの下に、[無効 (Disabled)] と表示されます。</p>

自動的にロックされるようにキーパッドを設定

誤ってキーを押したりコールをリダイヤルしたりしないようにするには、キーパッドの自動ロック機能を使用します。コールの完了後、電話機のキーパッドが自動的にロックされるまでの時間を設定できます。

目的	必要な操作
電話機を使用した後にキーパッドを自動的にロックする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [キーパッド設定 (Keypad Settings)] を選択します。 2. [キーパッドの自動ロック (Keypad Auto Lock)] を選択します。 3. 以下の時間のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 15 秒 • 30 秒 • 60 秒 4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。 <p>(注) 選択した時間が過ぎると、 アイコンが表示され、キーパッドがロックされます。</p>
キーパッドのロックを解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 任意のキーを押すと、画面に「キーパッドをロック解除しますか? (Unlock keypad?)」と表示されます。 2. [解除 (Unlock)] を押してから、[OK] を押します。 <p>(注) [解除 (Unlock)] および [OK] ソフトキーが表示されたら、それらを押す必要があります。押さないと、キーパッドはロックされたままになります。</p>

目的	必要な操作
キーパッドの自動ロックをオフにする	<ol style="list-style-type: none">1. ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [キーパッド設定 (Keypad Settings)] を選択します。2. [キーパッドの自動ロック (Keypad Auto Lock)] を選択します。3. [無効 (Disable)] を選択します。4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。 <p>(注) [キーパッドの自動ロック (Keypad Auto Lock)] オプションの下に、[無効 (Disabled)] と表示されます。</p>

ヒント

- 自動ロックが有効になるには、電話機がアイドル状態でメイン画面が表示されているときだけです。
- コールが受信されると、キーパッドのロックは一時的に無効になります。

キーパッド操作音の変更

キーパッド上のキーを押した時の音を有効または無効にできます。

目的	必要な操作
キーパッド操作音のレベルを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [キーパッド設定 (Keypad Settings)] を選択します。2. [キー操作音量 (Keypad Tone)] を選択します。3. 次のいずれかを選択します。<ul style="list-style-type: none">• [無効 (Disable)] : キーを押しても音が鳴りません。• [標準 (Normal)] : キーを押すと音が鳴ります。• [大音量 (Loud)] : キーを押すと大きな音が鳴ります。<p> アイコンが、選択した項目の横に表示されます。</p>4. [保存 (Save)] を押して変更を行うか、[キャンセル (Cancel)] を選択します。

ネットワーク プロファイル リストの表示

ネットワーク プロファイルには、ワイヤレス ネットワークへのアクセス、およびシステム内での認証ならびに暗号化のための事前定義設定が用意されています。システム管理者がネットワーク プロファイルを定義します。複数のネットワーク プロファイルが使用できる場合があります。その場合、**Service Set Identifier (SSID)** または**認証タイプ**が使用されている場所で、ワイヤレス ネットワーク設定にアクセスできます。

電話機で有効にできるネットワーク プロファイルは、最大 4 つです。電話機は、自動的にプロファイルを検索し、一致する SSID と、その特定のワイヤレス ネットワークの設定を持つネットワーク プロファイルを選択します。



(注) ネットワーク プロファイルを追加、またはプロファイル内の設定を変更したい場合、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作
有効なネットワーク プロファイルのリストを表示する	<p>▼  > [ネットワークプロファイル (Network Profile)] を選択します。</p> <p>有効なプロファイルの横には  が表示されます。</p> <p>(注) ネットワーク プロファイルはロックされているので、システム管理者に変更してもらう必要があります。</p>

ヒント

- ロックされていることを示す  アイコンがメニューの横に表示されている場合、情報については、システム管理者にお問い合わせください。
- EAP または LEAP ユーザ名およびパスワードを変更する必要がある場合、「[ユーザ名とパスワードの設定](#)」(P.15) を参照して、システム管理者にお問い合わせください。

ハードウェア診断の表示

電話機に関するさまざまな診断機能を実行できます。詳細については、以下のセクションを参照してください。

- 「キーパッド診断の実行」(P.94)
- 「オーディオの診断の実行」(P.94)
- 「WLAN の診断の実行」(P.95)
- 「スキャナの診断の実行」(P.95)

キーパッド診断の実行

電話機でキーパッド ボタンが機能することを確認できます。

目的	必要な操作
キーパッド ボタンが機能することを確認する	<ol style="list-style-type: none">1. ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [診断 (Diagnostics)] を選択します。2. [キーパッド (Keypad)] を選択します。3. 任意のキーを押します。キーが機能している場合、[押されました (Pressed)] が表示されます。

オーディオの診断の実行

電話機のスピーカおよびマイクロフォンが機能することを確認できます。

目的	必要な操作
電話機のスピーカおよびマイクロフォンが機能することを確認する	<ol style="list-style-type: none">1. ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [診断 (Diagnostics)] を選択します。2. [オーディオ (Audio)] を選択します。呼出音が鳴り、スピーカがアクティブになります。3. マイクロフォンに向かって話し、マイクロフォンとスピーカの両方が動作していることを確認します。

WLAN の診断の実行

診断メニューからサイト調査ユーティリティを実行して、AP が十分なカバレッジを提供していることを確認できます。サイト調査ユーティリティの使用に関する詳細については、『Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G, 7925G-EX, and 7926G Administration Guide』を参照してください。

目的	必要な操作
サイト調査ユーティリティを実行する	<ol style="list-style-type: none"> ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [診断 (Diagnostics)] を選択します。 [WLAN] を選択します。

スキャナの診断の実行

バーコード スキャナが機能していることを確認できます。

目的	必要な操作
バーコード スキャナが機能していることを確認します。	<ol style="list-style-type: none"> ▼  > [電話の設定 (Phone Settings)] > [診断 (Diagnostics)] を選択します。 [スキャナ (Scanner)] を選択します。 スキャナをバーコードの前に置いて、[スキャン (Scan)] を押します。

通話履歴とディレクトリの使用方法

このセクションでは、ディレクトリメニューにおける通話履歴とディレクトリの使用方法について説明します。

履歴の使用方法

電話機には、不在履歴、発信履歴、および着信履歴が記録されます。

目的	必要な操作
履歴を表示する	<ol style="list-style-type: none"> ▲  を押します。 [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。各履歴には、最大 100 件のレコードが保存されています。
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> ▲  を押します。 [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 電話番号までスクロールします。 <p>(注) 表示されている番号を編集 (プレフィックスの追加または削除) するには、◀ ▶ の前の [オプション (Options)] > [編集 (EditDial)] を押して、カーソルを移動します。キーパッドを使用して番号を入力するか、[<<] を押して番号を削除します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [ダイヤル (Dial)] または  を押します。
1 つのコールレコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none"> ▲  を押します。 [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 コールレコードを強調表示します。 [詳細 (Details)] を押して、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報 (発信履歴と着信履歴の場合のみ) を表示します。

目的	必要な操作
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  を押します。 2. [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 3. コール レコードまでスクロールします。 4. [オプション (Options)] > [削除 (Delete)] を選択するか、[オプション (Options)] > [終了 (Exit)] を選択します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  を押します。 2. [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 3. [オプション (Options)] > [削除 (Delete)] を選択するか、[オプション (Options)] > [終了 (Exit)] を選択します。
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  を押して、履歴を表示します。 2. [クリア (Clear)] を押します。押すと、すべての履歴が削除されます。または、[オプション (Options)] > [終了 (Exit)] を選択します。
履歴内の回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する	<p>ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。「BLF の使用による回線の状態の確認」(P.70)を参照してください。</p>

ヒント

- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コール ディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- マルチパーティ コール (転送されてきたコールなど) の完全なコール レコードを表示するには、該当のコール レコードを強調表示して、[詳細 (Details)] を選択します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。
 - 先頭に記録されるエントリは、電話機が受信したマルチパーティ コールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
 - 2 番めに記録されるエントリは、電話機が受信したマルチパーティ コールのうち一番初めに完了したコールの名前と番号です。

ディレクトリ ダイヤリング

設定によりませんが、電話機から社内ディレクトリおよびパーソナル ディレクトリ機能へアクセスすることができます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナル ディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機およびユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられたスピードダイヤルコードです。パーソナルディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファストダイヤルで構成されています。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファストダイヤルでは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てるすることができます。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	必要な操作
社内ディレクトリからダイヤルする (別のコールに接続していない状態)	<ol style="list-style-type: none"> 1.   > [ディレクトリ サービス (Directory Services)] > [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します (名前は異なる可能性があります)。 2. キーパッドを使用して、名前などの検索条件を入力します。 3.  または [検索 (Search)] を押します。 4. リストまでスクロールします。 <p>(注) 表示されている番号を編集 (プレフィックスの追加または削除) するには、  の前の [オプション (Options)] > [編集 (EditDial)] を選択して、カーソルを移動します。キーパッドを使用して番号を入力するか、[<<] を押して番号を削除します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [ダイヤル (Dial)] または  を押します。
ディレクトリ内の電話回線が使用中であるかどうかを確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。「 BLF の使用による回線の状態の確認 」(P.70) を参照してください。

ヒント

- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。「[テキストの入力と編集](#)」(P.16) を参照してください。
- 電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- 社内ディレクトリ レコードをローカルの電話帳にコピーできます。「[電話機の電話帳の使用](#)」(P.104) を参照してください。

電話機でのパーソナル ディレクトリの使用

パーソナル ディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファストダイヤルが含まれています。

Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降

Cisco Unified CallManager 4.3 以降のシステムへの接続時にパーソナル ディレクトリを設定および使用する方法については、以下の *Web* の『*Customizing Your Cisco IP Phone*』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

Cisco Unified Communications Manager Release 5.0 以降

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager Release 5.0 以降への接続時に、電話機でパーソナルディレクトリを設定および使用方法について説明します。「[Web でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」(P.118) も参照してください。

目的	必要な操作
パーソナルディレクトリにアクセスする (PABおよびファストダイヤルコードの検索のため)	<ol style="list-style-type: none"> ▲  > [ディレクトリ サービス (Directory Services)] > [個人アドレス帳 (PAB) サービス (Personal Address Book (PAB) Service)] を選択します (名前は異なる可能性があります)。 Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力してから、[オプション (Options)] > [送信 (Submit)] を選択します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 個人アドレス帳にアクセスします。 検索条件を入力して、[オプション (Options)] > [送信 (Submit)] を選択します。 <p>(注) PAB エントリの完全なリストを取得するには、検索条件は入力せず、[オプション (Options)] > [送信 (Submit)] を選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [オプション (Options)] > [前へ (Previous)] または [次へ (Next)] を選択すれば、リスト内を移動できます。 目的の PAB リストまでスクロールして、[選択 (Select)] または  を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> PAB エントリを検索します。 リストまでスクロールして、[選択 (Select)] または  ボタンを押します。 [ダイヤル (Dial)] を押します。 ダイヤルする番号までスクロールし、[OK] を押します。 もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> PAB エントリを検索します。 リストまでスクロールして、[選択 (Select)] または  ボタンを押します。 [オプション (Options)] > [削除 (Delete)] を選択します。 [OK] を押して、削除またはキャンセルを確定します。

目的	必要な操作
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストまでスクロールして、[選択 (Select)] または  ボタンを押します。 3. [オプション (Options)] > [編集 (Edit)] を選択して、名前またはメールアドレスを修正します。 4. 必要に応じて、[オプション (Options)] > [電話 (Phones)] を選択して電話番号を修正します。 5. [更新 (Update)] を押します。
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人アドレス帳 にアクセスします。 2. [検索 (Search)] ページにアクセスして、[オプション (Options)] > [送信 (Submit)] を選択します。最初に検索情報を入力する必要はありません。 3. [オプション (Options)] > [新規 (New)] を選択します。 4. キーパッドを使用して、名前またはニックネームを入力します。 5. [電話 (Phones)] を押し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード (9 や 1 など) を必ず含めます。 6. [送信 (Submit)] を押して、エントリをデータベースに追加します。
PAB エントリにファストダイヤルコードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストまでスクロールして、[選択 (Select)] または  ボタンを押します。 3. [オプション (Options)] > [ファストダイヤル (Fast Dial)] を選択します。 4. 番号に割り当てるファストダイヤルコードまでスクロールして、[選択 (Select)] または  を押します。
新規ファストダイヤルコードを追加する (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。 2. [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択します。 3. 割り当てられていないファストダイヤルコードまでスクロールし、[選択 (Select)] または  を押します。 4. [割り当て (Assign)] を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新 (Update)] を押します。

目的	必要な操作
ファストダイヤルコードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択します。 2. [オプション (Options)] > [前へ (Previous)] または [次へ (Next)] を選択すれば、リスト内を移動できます。 3. 目的のリストまでスクロールして、[選択 (Select)] または  を押します。
ファストダイヤルコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファストダイヤルコードを検索します。 2. 目的のリストまでスクロールして、[選択 (Select)] または  を押します。 3. [ダイヤル (Dial)] を押します。 4. [OK] を選択して、操作を完了します。
ファストダイヤルコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファストダイヤルコードを検索します。 2. 目的のリストまでスクロールして、[選択 (Select)] または  を押します。 3. [オプション (Options)] > [削除 (Remove)] を選択します。
パーソナルディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します (正確な名前は異なる可能性があります)。 2. [ログアウト (Logout)] を選択します。

ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナルディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナルディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーションボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- お使いの電話機に国際コールのログインを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話機の電話帳の使用

電話機の電話帳には、最大 100 の連絡先の情報（職場の電話ならびに携帯電話の番号、および企業名など）を保存できます。



(注) 電話帳を開くように左ソフトキーをカスタマイズすることができます。そのようにカスタマイズすると、左ソフトキーが、[電話帳 (Ph Book)] として表示されます。詳細については、「[電話スクリーンのカスタマイズ](#)」(P.87) を参照してください。



(注) システム管理者は、連絡先が XML または CSV 形式を使用したファイル (Microsoft Outlook または Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 における連絡先など) に保存されている場合、それらの連絡先を最大 100 まで電話帳にインポートできます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作
<p>連絡先を電話帳に追加する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. 次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - [新規 (New)] を押します (電話帳が空の場合)。 - [オプション (Options)] > [新規 (New)] を選択します (電話帳が空の場合)。 3. [新規連絡先 (New Contact)] スクリーンで、連絡先の情報を入力します。 4. 入力が終わったら、[オプション (Options)] を押してから、[保存 (Save)] を選択して情報を保存するか、[キャンセル (Cancel)] を押します。
<p>連絡先にプライマリ番号を割り当てる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示して、[オプション (Options)] > [詳細 (Details)] を選択します。 3. 番号 ( 職場の電話、  家の電話、  携帯電話の番号、または  他の電話) を選択し、[オプション (Options)] > [プライマリ (Primary)] を選択します。 <p>選択した番号の横に  (チェックマーク) が表示されます。</p> <p>(注) 連絡先のデフォルトのプライマリ番号は職場の電話です。どの番号もプライマリ番号として割り当てることができます。</p>
<p>連絡先の名前または企業情報を変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、 を押して詳細を表示します。 [オプション (Options)] > [詳細 (Details)] を選択することもできます。 3. 情報フィールドを選択して、[変更 (Change)] を押します。 4. 変更を入力します。入力が終わったら、[オプション (Options)] を押してから、[保存 (Save)] を選択して情報を保存するか、[キャンセル (Cancel)] を押します。

目的	必要な操作
連絡先の電話番号を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示し、 を押して詳細を表示します。 [オプション (Options)] > [詳細 (Details)] を選択することもできます。 3. 番号 ( 職場の電話、 家の電話、 携帯電話の番号、または  他の電話) を選択し、[オプション (Options)] > [変更 (Change)] を選択します。 4. 変更を入力します。入力が終わったら、[オプション (Options)] を押してから、[保存 (Save)] を選択して情報を保存するか、[キャンセル (Cancel)] を押します。
電話帳で連絡先を検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. [オプション (Options)] > [モード (Mode)] を選択して、検索するテキストを入力します。名、姓、ニックネーム、および企業名を検索できます。 <p>(注) 検索テキストは次の2つのいずれかの方法で入力できます。必要な文字または番号が表示されるまで1回または複数回キーを押すか、1つまたは複数のキーを押した後に一致する可能性がある文字または番号を自動的に表示します (予測テキスト)。</p> <p>検索テキストの入力方法を変更するには、[オプション (Options)] > [モード (Mode)] を再度選択します。</p>
電話帳から連絡先を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示して、[オプション (Options)] > [削除 (Delete)] を選択します。 連絡先が削除され、その連絡先番号のスピードダイヤル割り当てが解除されます。

目的	必要な操作
<p>連絡先のプライマリ電話番号をダイヤルする</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. 連絡先の名前を強調表示します。その連絡先のプライマリ電話番号が左下に表示されます。この番号にダイヤルするには、 または [オプション (Options)] > [ダイヤル (Dial)] を選択します。 <p>(注) 連絡先のデフォルトのプライマリ番号は職場の電話です。プライマリ番号は、この連絡先のどの番号にも変更できます。</p>
<p>連絡先の電話番号をダイヤルする</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. 連絡先を強調表示してから、次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - ダイヤルする電話番号のアイコン ( 職場の電話、 家の電話、 携帯電話、または  その他の電話) が表示されるまで左右にスクロールします。 - [オプション (Options)] > [詳細 (Details)] を選択して、電話番号を強調表示し、 または [オプション (Options)] > [ダイヤル (Dial)] を押します。
<p>電話帳からすべてのエントリをクリアする</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [電話帳 (Phone Book)] を選択するか、または [電話帳 (Phone Book)] (ある場合) を押します。 2. [オプション (Options)] を押して、[すべて削除 (DeleteAll)] を選択します。
<p>電話番号を履歴から新しい電話帳の連絡先にコピーする</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 2. 電話番号までスクロールして、[オプション (Options)] > [保存 (Store)] > [新規連絡先 (New Contact)] を選択します。[連絡先の保存 (Store Contact)] スクリーンが表示されます。 3. 名、姓、ニックネーム、および企業に関する情報を入力します。 4. 入力したら、[オプション (Options)] > [保存 (Save)] を選択してから、電話機の種類を選択して番号を保存します。

目的	必要な操作
電話番号を履歴から既存の電話帳の連絡先にコピーする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  > [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 2. 電話番号までスクロールして、[オプション (Options)] > [保存 (Store)] > [既存連絡先の使用 (Use Existing Contact)] を選択します。 3. 電話帳の連絡先リストで、名前を強調表示します。 4. 電話機の種類を選択して番号保存します。
電話番号をディレクトリから新しい電話帳の連絡先にコピーする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  > [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して、名前などの検索条件を入力してから、[検索 (Search)] を押します。 3. リストが表示されたら、[オプション (Options)] > [保存 (Store)] > [新規連絡先 (New Contact)] を選択します。[連絡先の保存 (Store Contact)] スクリーンが表示されます。 4. 名、姓、ニックネーム、および企業に関する情報を入力します。 5. 入力したら、[オプション (Options)] > [保存 (Save)] を選択してから、電話機の種類を選択して番号を保存します。
電話番号をディレクトリから既存の電話帳の連絡先にコピーする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▲  > [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して、名前などの検索条件を入力してから、[検索 (Search)] を押します。 3. リストが表示されたら、[オプション (Options)] > [保存 (Store)] > [既存連絡先の使用 (Use Existing Contact)] を選択します。 4. 電話帳の連絡先リストで、名前を強調表示します。 5. 電話機の種類を選択して番号保存します。

目的	必要な操作
<p>[スピードダイヤル (Speed Dial)] スクリーンから) スピードダイヤルを電話帳内の連絡先番号に割り当てる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [スピードダイヤル (Speed Dial)] を選択します。 2. 未割り当てスピードダイヤルを強調表示し、[割り当て (Assign)] を押します。電話帳の連絡先リストが表示されます。 3. 名前を強調表示します。プライマリ番号を選択するか、左右にスクロールして別の番号を選択してから、[Select (選択)] を押します。選択した番号がスピードダイヤルに割り当てられます。 <p>(注) スピードダイヤル 1 は、常にボイスメールに割り当てられます。このスピードダイヤルは、削除または再割り当てできません。</p> <p>(注) スピードダイヤル コールを発信するには、「コールの発信：その他のオプション」(P.41) を参照してください。</p>
<p>(メイン画面から) スピードダイヤルを電話帳内の連絡先番号に割り当てる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未割り当てスピードダイヤル番号を約 2 秒間押し続けてから、[はい (Yes)] を押します。電話帳のメイン画面が表示されます。 2. 連絡先を強調表示して、[Select (選択)] を押して、スピードダイヤルをプライマリ番号に割り当てます。
<p>スピードダイヤルの割り当てを解除する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [スピードダイヤル (Speed Dial)] を選択します。 2. 割り当て済みのスピードダイヤルを強調表示して、[削除 (Delete)] を押します。 3. [はい (Yes)] を押して確定するか、[いいえ (No)] を押してキャンセルします。

ヒント

- スピードダイヤルを連絡先番号に割り当てると、スピードダイヤルアイコン  と番号が、連絡先の詳細内の電話番号の下に表示されます。
- 電話帳には最大 100 の連絡先を保存できますが、スピードダイヤル 1 はボイスメール用に予約されているので、割り当てることができるスピードダイヤルの数は 99 までです。
- 別の場所 (Microsoft Outlook や Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 など) に連絡先情報が保存されている場合、システム管理者に対して、ファイルを自分の電話帳にインポートできるかどうか問い合わせてください。

ボイス メッセージにアクセスする

電話機に「ボイスメールを受信しました (You Have VoiceMail)」と表示されるか、赤のライトが点滅したら、電話機からメッセージにアクセスできます。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されます。ボイス メッセージ サービスの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	<ol style="list-style-type: none"> [メッセージ (Message)] を押すか、 を押し続けます。 音声の指示に従います。 <p>(注) メイン画面の左ソフトキーを電話帳 (Ph Book) へのアクセス用に変更すると、[メッセージ (Message)] ソフトキーは使用できなくなります。詳細については、「電話スクリーンのカスタマイズ」(P.87) を参照してください。</p>
新しいボイス メッセージの着信を確認する	<p>電話機で以下のインジケータを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤のライトが点滅 テキスト メッセージ「ボイスメールを受信しました (You Have VoiceMail)」 回線表示内の自分の電話番号の横の、点滅するメッセージ受信  アイコン
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージシステム メニューにアクセスする	<ol style="list-style-type: none"> [メッセージ (Message)] を押すか、 を押し続けます。 ボイス メッセージのパスワードを入力します。 音声による指示に従って、メッセージを聞きます。 <p>(注) メイン画面の左ソフトキーを電話帳 (Ph Book) へのアクセス用に変更すると、[メッセージ (Message)] ソフトキーは使用できなくなります。詳細については、「電話スクリーンのカスタマイズ」(P.87) を参照してください。</p>
ボイス メッセージシステムにコールを送信する	<p>[即転送 (iDivert)] を押します。</p> <p>即転送機能により、ボイス メッセージシステムにコール (呼出中または保留中のコールを含む) が自動的に転送されます。発信者にボイス メッセージ グリーティングが流れ、発信者が受信者にメッセージを残すことが可能になります。</p>

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

ワイヤレス IP 電話は、自分のパーソナル コンピュータを含む、社内の他のネットワーク デバイスと情報を共有することができるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページにログインできます。このページから、ワイヤレス IP 電話の機能、設定、およびサービスを制御できます。このセクションの内容は以下のとおりです。

- 「Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ」 (P.112)
- 「Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ」 (P.115)

Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページ

このセクションでは、ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法、Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のシステムへ接続する場合の、電話サービスへの登録方法について説明します。設定可能な機能、および登録可能な電話サービスの詳細については、『*Customizing Your Cisco IP Phone*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html) を参照してください。

以下のセクションも参照してください。

- 「ユーザ オプション Web ページへのログイン」 (P.112)
- 「電話サービスへの登録」 (P.113)

ユーザ オプション Web ページへのログイン

このセクションでは、Cisco Unified CallManager Release 4.3 以降のユーザ オプション Web ページへのログイン方法と、電話機の選択方法について説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。 Cisco Unified CallManager ユーザ オプション メイン Web ページが表示されます。

目的	必要な操作
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合メニューのデバイスを選択するドロップダウン リストから、デバイスタイプ（電話機のモデル）を選択します。コンテキスト センシティブ メニューが表示され、ご使用のワイヤレス IP 電話に応じたオプションが表示されます。 2. ご使用のワイヤレス IP 電話のオプションを変更します。

ユーザ オプション Web ページの参照に関するヒント

- オプションをすべて表示するには、メニュー ページから使用するデバイスを選択します。
- 変更内容を適用および保存するには [更新 (Update)] をクリックします。
- コンテキスト センシティブ メニューに戻るには、[メニューに戻る (Return to the Menu)] をクリックします。
- ユーザ ページを閉じるには、[ログオフ (Log Off)] をクリックします。

電話サービスへの登録

使用している電話機で登録電話サービスへアクセスするには、コンピュータからユーザ オプション Web ページにアクセスして、それらのサービスに登録する必要があります。「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」(P.115) を参照してください。

電話サービスには、以下のものが含まれます。

- 株式相場、映画リスト、天気予報などの Web ベースの情報
- 企業カレンダー、検索可能なディレクトリなどのネットワーク データ
- ファスト ダイアル サービス、アドレス帳などの、電話機の機能

詳細については、次の表を参照してください。

目的	ログインしてデバイス タイプを選択した後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none">1. メイン メニューで、[Cisco IP Phone サービスの設定 (Configure your Cisco IP Phone Service)] を選択します。2. [使用可能なサービス (Available Services)] ドロップダウン リストからサービスを選択して、[続行 (Continue)] をクリックします。3. 要求に応じてさらに情報を入力します (郵便番号や PIN など)。4. [登録 (Subscribe)] をクリックします。
登録を変更または解除する	<ol style="list-style-type: none">1. メイン メニューで、[Cisco IP Phone サービスの設定 (Configure your Cisco IP Phone Service)] を選択します。2. [登録されているサービス (Your Subscribed Services)] パネルでサービスをクリックします。3. 変更した後に [更新 (Update)] をクリックするか、[登録解除 (Unsubscribe)] をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	<ol style="list-style-type: none">1. ◀  ([サービス (Services)]) > ([サービス名 (Service Name)]) を選択する。2. 必要なサービスを選択します。
電話サービスの使用方法を学ぶ	以下の Web ページの『 <i>Customizing Your Cisco IP Phone on the Web</i> 』を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページ

このセクションでは、ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法、Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のシステムへ接続する場合の、電話サービスへの登録方法について説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス、機能の設定、および電話サービスへの登録に関する詳細については、次のセクションを参照してください。

- 「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」 (P.115)
- 「Web での機能およびサービスの設定」 (P.116)

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager Release 5.1 以降のユーザ オプション Web ページへのログイン方法と、電話機の選択方法について説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。 2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。 3. セキュリティ設定を受け入れるように求められた場合は、[はい (Yes)] または [証明書のインストール (Install Certificate)] をクリックします。 <p>Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション メイン Web ページが表示されます。このページで [ユーザ オプション (User Options)] を選択すると、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファスト ダイヤルにアクセスできます。</p> <p>電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します (次の行を参照)。</p>
ログイン後にデバイスを 選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインした後に、[ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 [デバイス設定 (Device Configuration)] ページが表示されます。 2. 複数のデバイスを割り当てる場合、適切なデバイス (電話モデルまたはエクステンション モビリティ プロファイル) が選択されていることを確認します。必要に応じて、[名前 (Name)] ドロップダウンメニューから別のデバイスを選択します。

目的	必要な操作
ユーザ機能を設定する	以下の機能にアクセスするには、[ユーザ オプション (User Options)] ドロップダウン ボタンを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザ設定 ディレクトリ 個人アドレス帳 ファストダイヤル
電話機設定を設定する	以下の電話機固有のオプションにアクセスするには、ツールバー ボタンを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 回線の設定 短縮ダイヤル 電話機サービス サービス URL
[デバイス設定 (Device Configuration)] ページに戻る	正しいデバイスが設定されているか確認したり、デバイスを変更したりするには、現在のページから [ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。

ヒント

ご使用の電話機で使用可能なすべての設定オプションにアクセスするには [デバイス設定 (Device Configuration)] ページを参照してください（他のページでは一部のオプションにアクセスできない場合があります）。

Web での機能およびサービスの設定

この項では、ログイン後、ユーザ オプションの Web ページから機能およびサービスを設定する方法について説明します。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.115) を参照してください。

- 「Web でのスピードダイヤルの設定」(P.117)
- 「Web でのパーソナルディレクトリの使用方法」(P.118)
- 「Web での電話機サービスの設定」(P.121)
- 「Web でのユーザ設定の制御」(P.122)
- 「Web での回線設定の制御」(P.123)
- 「Cisco WebDialer の使用方法」(P.125)

Web でのスピード ダイアルの設定

設定によって異なりますが、ご使用の電話機で、Web ページから設定する以下の複数のスピード ダイアル機能がサポートされている場合があります。

- 回線表示スピード ダイアル
- 短縮ダイアル
- ファスト ダイアル



(注) スピード ダイアル機能の使用方法については、「スピード ダイアル」(P.61) を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線表示スピードダイアル番号を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G デバイスの名前を選択します。 2. [スピードダイアル (Speed Dials)] をクリックします。 3. 実際にダイアルする電話番号を入力します。 4. 11 文字以下のスピードダイアル暗号のラベルを入力します。 5. [保存 (Save)] をクリックします。 <p>(注) 回線表示でスピードダイアルを設定した場合、そのスピードダイアルのラベルが、 アイコンの横に表示されます。</p>
短縮ダイアルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G デバイスの名前を選択します。 2. [スピードダイアル (Speed Dials)] をクリックします。 3. 実際にダイアルする電話番号、および短縮ダイアルコードのラベルを入力します。 4. [保存 (Save)] をクリックします。 <p>(注) 短縮ダイアルコードの番号は控えておいてください。スピードダイアル番号にアクセスする場合に、[オプション (Options)] > [短縮 (AbbrDial)] でこのコードを使用します。</p>
ファストダイアルを設定する	<p>「Web でのファストダイアルの設定」(P.119) を参照してください。</p> <p>ファストダイアルは、電話機からも設定できます。「電話機でのパーソナルディレクトリの使用」(P.100) を参照してください。</p>

ヒント

- [回線表示 (Line View)] 画面には、最大 6 つの番号を表示できます (回線番号とスピードダイヤル番号の組み合わせ)。
- スピードダイヤルラベルが 11 を超えている場合、ラベルは左側から短縮されるので、より短いラベルを使用してください。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。

Web でのパーソナルディレクトリの使用方法

ユーザのコンピュータからアクセス可能なパーソナルディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファストダイヤル
- アドレス帳同期化ツール (TABSynch)



(注) PAB およびファストダイヤルには、電話機からもアクセスできます。「[電話機でのパーソナルディレクトリの使用](#)」(P.100)を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザ オプション (User Options)] > [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。2. [新規追加 (Add New)] をクリックします。3. エントリの情報を入力します。4. [保存 (Save)] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザ オプション (User Options)] > [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。2. 検索情報を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。 <p>(注) すべてのエントリを検索するには、検索情報を空白のままにして、[検索 (Find)] をクリックします。</p>

目的	ログイン後に必要な操作
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 名前またはニックネームをクリックします。 3. エントリを必要に応じて編集し、[保存 (Save)] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

Web でのファスト ダイアルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファスト ダイアルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
PAB エントリにファスト ダイアル コードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを作成します。「Web での個人アドレス帳の使用方法 (P.118)」を参照してください。 2. [ユーザ オプション (User Options)] > [ファスト ダイアル (Fast Dials)] を選択します。 3. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 4. 必要に応じて、ファスト ダイアル コードを変更します。 5. [検索オプション (Search Options)] 領域を使用して、該当する PAB エントリを検索します。 6. [検索結果 (Search Results)] 領域で電話番号をクリックします。 7. [保存 (Save)] をクリックします。
ファスト ダイアル コードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ファスト ダイアル (Fast Dials)] を選択します。 2. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 3. 必要に応じて、ファスト ダイアル コードを変更します。 4. 電話番号を入力します。 5. [保存 (Save)] をクリックします。
ファスト ダイアル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ファスト ダイアル (Fast Dials)] を選択します。 2. 検索情報を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
ファストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ファストダイヤル (Fast Dials)] を選択します。 2. 編集するファストダイヤル エントリを検索します。 3. エントリのコンポーネントをクリックします。 4. 電話番号を変更します。 5. [保存 (Save)] をクリックします。
ファストダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファストダイヤルを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

ヒント

- 最大 500 個のファストダイヤルおよび PAB のエントリを作成できます。
- PAB エントリを使用しなくても、新規のファストダイヤル エントリを作成できます。新規のファストダイヤル エントリは、ユーザ オプション Web ページでは「raw」とラベル付けされ、設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期できます。同期すると、ワイヤレス IP 電話とユーザ オプション Web ページの Microsoft Windows アドレス帳からエントリにアクセスできるようになります。システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特別な電話機機能、ネットワーク データ、および Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G デバイスの名前を選択します。 2. [電話サービス (Phone Services)] をクリックします。 3. [新規追加 (Add New)] をクリックします。 4. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。 5. 可能な場合はサービス ラベルを変更したり追加のサービス情報を入力します (オプション)。 <p>(注) ラベルが 11 文字を超えている場合、ラベルは左側から短縮されるので、より短い名前を使用してください。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存 (Save)] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス (Phone Services)] をクリックします。 3. [検索 (Find)] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更し、[保存 (Save)] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
使用可能な画面スロットにサービスを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [サービス URL (Service URL)] をクリックします。 (注) このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。 3. [ボタン サービス (Button Service)] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 4. サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。 (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベルフィールドを使用します。 5. [保存 (Save)] をクリックします。 6. [リセット (Reset)] をクリックして、電話機を再設定して新しいラベルを表示します。電話機が再設定されるまで、ラベルを表示できません。
電話機からサービスにアクセスする	<p>◀  > [サービス名 (Service Name)] を選択します。</p> <p>(注) ご使用の電話機で利用可能なサービスは、電話システムの設定、および登録しているサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <p>(注) 設定されているサービスが 1 つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開きます。設定されているサービスが複数の場合、電話スクリーンメニューからオプションを選択します。</p>

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。PIN およびパスワードを使用すると、さまざまな機能やサービスにアクセスできます。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。 2. [ブラウザのパスワード (Browser Password)] 領域に情報を入力します。 (注) パスワードの文字数は 5 ～ 127 文字にする必要があります。 3. [保存 (Save)] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。 2. [電話の PIN (Phone PIN)] 領域に情報を入力します。 (注) PIN は 5 ~ 20 の数字にする必要があります。 3. [保存 (Save)] をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語 (ロケール) を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザ オプション (User Options)] > [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。 2. [ユーザ ロケール (User Locale)] 領域で、[ロケール (Locale)] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存 (Save)] をクリックします。
電話スクリーンの言語 (ロケール) を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択して、[デバイス設定 (Device Configuration)] ページに移動します。 2. [ユーザ ロケール (User Locale)] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存 (Save)] をクリックします。

ヒント

- PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。
- パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。
- これらのサービスの詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線 (電話番号) に影響します。回線の設定には、コール転送や回線ラベルを含めることが可能です。



(注)

- (プライマリ電話回線の) コール転送は、電話機で直接設定することが可能です。「別の電話番号へのコールの転送」(P.50) を参照してください。
- 電話機で直接アクセスできる電話設定については、「電話機の設定の変更方法」(P.84) を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとのコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Wireless IP Phone 7925G、7925G-EX、および 7926G デバイスの名前を選択します。 2. [回線の設定 (Line Settings)] をクリックします。 3. 複数の電話番号 (回線) が電話機に割り当てられている場合、適切な回線が選択されているかどうかを確認するか、新しい回線を選択してください。 4. [着信コールの転送 (Incoming Call Forwarding)] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。 5. [保存 (Save)] をクリックします。
回線ごとにボイス メッセージのインジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定 (Line Settings)] をクリックします。 3. 複数の電話番号 (回線) が電話機に割り当てられている場合、適切な回線が選択されているかどうかを確認するか、新しい回線を選択してください。 4. [メッセージ受信ランプ (Message Waiting Lamp)] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <p>(注) 一般的に、設定を待機するデフォルトメッセージは、電話機に対して、新しいボイス メッセージを示すメッセージを表示するように求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存 (Save)] をクリックします。
電話スクリーンに表示される回線テキスト ラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定 (Line Settings)] をクリックします。 3. 複数の電話番号 (回線) が電話機に割り当てられている場合、適切な回線が選択されているかどうかを確認するか、新しい回線を選択してください。 4. [回線のテキスト ラベル (Line Text Label)] 領域に、テキスト ラベルを入力します。 <p>(注) ラベルが 11 文字を超えている場合、ラベルは左側から短縮されるので、より短い名前を使用してください。たとえば、「Customer Service」は「.....er Service」と表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存 (Save)] をクリックします。

ヒント

ユーザ オプション Web ページからは、電話機の呼出音設定を変更できません。

Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ連絡先へのコールをワイヤレス IP 電話で発信できます。システム管理者は、この機能を設定する必要があります。

目的	必要な操作
ユーザ オプションディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.115) を参照してください。 2. [ユーザ オプション (User Options)] > [ディレクトリ (Directory)] を選択し、同僚を検索します。 3. ダイヤルする番号をクリックします。 4. WebDialer を初めて使用する場合、設定を行って、[送信 (Submit)] をクリックします。詳細については、この表の最後の行を参照してください。 5. [発信 (Make Call)] ページが表示されたら、[ダイヤル (Dial)] をクリックします。今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の行を参照してください。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了 (Hangup)] をクリックするか、電話機から切断します。
別のオンライン社内ディレクトリ (ユーザのユーザ オプションディレクトリではないもの) で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. WebDialer を初めて使用する場合、設定を行って、[送信 (Submit)] をクリックします。詳細については、この表の最後の行を参照してください。 5. [発信 (Make Call)] ページが表示されたら、[ダイヤル (Dial)] をクリックします。今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の行を参照してください。 これで電話機からコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了 (Hangup)] をクリックするか、電話機から切断します。
WebDialer からログアウトする	<p>コールの開始ページまたはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。</p>

目的	必要な操作
WebDialer の初期設定を設定、表示、または変更する	<p>[設定 (Preferences)] ページにアクセスします。</p> <p>[設定 (Preferences)] ページは、WebDialer を初めて使用する時 (ダイヤルする番号をクリックした後) に表示されます。</p> <p>後で設定に戻る場合、[発信 (Make Call)] または [コールの終了 (Hangup)] ページから設定アイコンをクリックします。</p> <p>[設定 (Preferences)] ページには、以下のオプションが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [優先する言語 (Preferred language)] : WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 • [常設の電話を使う (Use permanent device)] : WebDialer コールの発信に使用するワイヤレス IP 電話および電話番号 (回線) を指定します。1本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線を選択します。電話機はホスト名で指定されます。 電話機にホスト名を表示するには、▼  ([設定 (Settings)]) > [ネットワークプロファイル (Network Profile)] > [ネットワークの設定 (Network Configuration)] > [ホスト名 (Host Name)] を選択します。 • [エクステンション モビリティを使用する (Use Extension Mobility)] : 選択すると、WebDialer が、エクステンション モビリティ プロファイル (ある場合) に関連付けられているワイヤレス IP 電話を使用します。 • [コールの確認ダイアログを表示しない (Do not display call confirmation)] : 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能の他に、特定のソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。これらのオプションは、コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、システム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されているユーザ ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

目的または状態	必要な操作	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話機が呼出中や使用中である場合に表示する、各種ソフトキー (iDivert など) が必要	システム管理者に対して、新しいソフトキー テンプレートを設定し、電話機に割り当てることを依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
Java Midlets を使用する	システム管理者に、電話機に対して Java ソフトウェア モジュールを設定するように依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
スピード ダイヤル番号が足りない	現在使用可能なスピード ダイヤル番号をすべて使用しているかどうかを確認します。 追加のスピード ダイヤル番号が必要な場合は、短縮ダイヤル機能の使用またはファストダイヤル サービスへの登録を検討してください。	「 ユーザオプション Web ページへのアクセス 」(P.112) を参照してください。
複数の電話機に1つの電話番号を使用する	共有回線が必要です。たとえば、共有回線を使用することで、デスクの電話機とワイヤレス IP 電話に1つの番号を使用できます。	「 共有回線の使用 」(P.67) を参照してください。

目的または状態	必要な操作	参照先または問い合わせ先
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンションモビリティ：自分の電話番号とユーザプロフィールを共有された電話に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「不審なコールのトレース」(P.73) • 「共有回線の使用」(P.67) • 「Cisco エクステンションモビリティの使用法」(P.75)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	「自動応答の使用」(P.82)を参照してください。
電話機のスピードダイヤル、履歴、またはディレクタリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジーランプフィールド) を設定するように、管理者に依頼します。	「BLF の使用による回線の状態の確認」(P.70)を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンションモビリティサービスについてシステム管理者に問い合わせます。	「Cisco エクステンションモビリティの使用法」(P.75)を参照してください。
回線を共有するすべての電話機に対して、コール情報の表示、または共有回線上のコールへの参加を許可または禁止する	これらの電話機に対してプライバシー機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	「他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止」(P.69)を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

このセクションでは、ご使用のワイヤレス IP 電話に関するトラブルシューティング情報を示します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
コールを完了できない	<p>次の状況の 1 つまたは複数が当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機がワイヤレス ネットワーク アクセス ポイント サービス領域の範囲外にあります。 <p>(注) 電話機でローミングしている際に緑色のライトが点灯している場合、電話機がワイヤレス サービス カバレッジ領域内にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。 番号をダイヤルした後で、クライアント識別コードまたは強制承認コードを入力する必要があります。 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。
メイン画面がアクティブでない	<p>以下のメッセージのいずれかがステータス行に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークがビジーです：コールを完了するのに十分な帯域幅がありません。再試行してください。 サービス圏外に接近中：電話機が関連するアクセス ポイントおよびワイヤレス ネットワークの範囲外にあります。 ネットワーク サービスの検索中：電話機がワイヤレス ネットワーク アクセス ポイントを検索しています。 認証に失敗しました：認証サーバがセキュリティ証明書を受け付けませんでした。 IP を設定中：電話機が、DHCP が IP アドレスを割り当てるのを待っています。
設定メニューが反応しない	<p>システム管理者が、設定メニューへのアクセスを無効にしている可能性があります。</p>

症状	説明
結合が失敗する	<p>結合には、選択したコールが複数必要です。最低 1 つのコールを選択しており、さらにアクティブ コールが自動で選択されていることを確認してください。結合には同じ回線上の選択したコールも必要です。必要に応じて、結合する前に各コールを 1 つの回線に転送します。</p>
使用したいソフトキーが表示されない	<p>次の状況の 1 つまたは複数が当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オプション (Options)] を押し、スクロールして、追加のソフトキーを表示する必要があります。 • 回線の状態を変更する必要があります (コールを発信する、接続コールを持つなど)。 • 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていません。
[割込み (Barge)] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	<p>次の状況の 1 つまたは複数が当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。 • 別の Cisco Unified Wireless IP Phone でコールに割り込むことはできません。
[割込み (Barge)] を使用して参加したコールが切断される	<p>[割込み (Barge)] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。</p>
[折返し (CallBack)] が失敗する	<p>通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。</p>
不在転送を設定しようとすると、電話機にエラーメッセージが表示される	<p>不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、不在転送ループを招く転送先番号が入力された場合、または不在転送チェーンで許可された最大リンク数 (最大ホップカウントとも呼ばれます) を超えることになる転送先番号が入力された場合です。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p>

電話機の管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	必要な操作
ネットワークまたはワイヤレス ネットワークの設定データにアクセスする	 > [デバイス情報 (Information)] > [ネットワーク (Network)] または [WLAN] を選択し、表示する設定項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス (Status)] を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 > [ステータス (Status)] > [コール統計 (Call Statistics)] を選択します。

品質レポート ツールの使用

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするために、システム管理者により一時的に、電話機に品質レポート ツール (QRT) が設定されることがあります。[オプション (Options)] > [QRT] を選択して、システム管理者に対して情報を送信します。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐに報告する
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択して、原因コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html

Index

B

BLF ピックアップ **70**

Bluetooth

認定デバイス ID **20, 21**

ヘッドセット **77**

有効化 **79**

付属品 **17**

ヘルスケア環境 **5**

ボタンとキー **23**

Cisco WebDialer **125**

C 割込

使用法 **68**

「割込み」も参照

C

Cisco Unified IP Phone

Cisco Unified IP Phone 用 Web ベースのサービス **112**

マニュアル **2**

Cisco Unified Wireless IP Phone

Cisco Unified Wireless IP Phone のオンラインヘルプ **31**

Cisco Unified Wireless IP Phone の機能設定 **35, 127**

Cisco Unified Wireless IP Phone の説明 **20**

安全性とパフォーマンス **2**

規制区域 **5**

クリーニング **37**

接続 **7**

電源オン **14**

電源装置 **5**

登録 **16**

トラブルシューティング **129**

L

LED の点滅速度 **24**

M

MLPP、使用 **73**

Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) **73**

P

PAB

PAB からダイヤル **43**

Web ページから使用 **118**

PIN、変更 **123**

Push To Talk

アクセス **76**

使用法 **76**

ボタン **76**

Q

Quality Reporting Tool (QRT)、使用法 **131**

T

TABSynch **120**

TAPS、使用方法 **16**

Tool for Auto-Registered Phones Support **16**

W

WebDialer **125**

あ

アイコン **60**

アイコンの説明 **28**

回線状態 **34**

コールの状態 **34**

信号の強度 **14**

アイコン、コール状態の **33**

アクセシビリティ **6**

アドホック会議、「会議コール」を参照

アプリケーション ボタン **26**

暗号化されたコール **71**

安全性とパフォーマンス **2**

安全なコール **71**

い

インジケータ ライト

色 **24**

点減速度 **24**

動作中 **15**

緑で点灯 **15**

インターコム回線 **60**

え

エクステンション モビリティ

使用法 **43**

ログイン **75**

エクステンション モビリティ ログアウト **75**

お

応答、コールへの **44**

応答 / 送信ボタン **26**

折り返し **42**

音質データ

検索 **131**

オンライン ヘルプ、使用 **31**

音量

維持 **78**

コール中に調整 **78**

音量ボタン

使用方法 **32**

説明 **26**

か

会議コール

アドホック **54**

標準 **54**

ミーティング **54, 57**

回線	
アクセス	33
およびコール転送	123
回線表示アイコン	33
コールの状態アイコン	34
説明	33
テキストラベル	123
表示	33
ボイスメッセージインジケータの設定	123
回線設定、Communications Manager Web ページでの制御	123
回線表示スピードダイヤル	62
課金コードを使用して発信	43

き

キーパッドのショートカット	32
キーパッドのロック	
キーパッドのロック解除	32, 90
自動キーロック機能	90
自動キーロックの設定	90
ロック	
キーパッド	32
キーロック	32
規制区域	5
機能	
アクセシビリティ	6
機能のアベイラビリティ	35
機能の追加	127
機能ボタン、使用方法	30
機能メニュー	30
共有回線	
およびリモートで使用メッセージ	67
説明	67

プライバシーの使用	69
割り込みの使用	68
共有回線のリモートでの使用	67
切り替え、コールの	48

く

グループのピックアップ	64
-------------	----

け

警告	2
----	---

こ

コール	
アイコン	33
安全	71
応答	44
会議機能	54
回線との違い	33
サイレントの使用	51
終了	46
選択	33
転送	49, 50, 123
パーク	65
発信	38, 41
ピックアップ	64
複数の参加者	54
複数の処理	48
ブロッキング	51
保存と取得	65
保留と復帰	46

ミュート	47
優先順位付け	73
呼び出し中のリダイレクト	45
コール処理、応用的	61
コール処理、基本	38
コール転送	50
Communications Manager Web ページから設定	123
コールの選択	33
コールの待機	44
コール パーク	65
コール ピックアップ	64
個人アドレス帳、「PAB」を参照	

さ

サービス、登録	121
サイレント	51

し

自動応答、使用法	82
自動キーロック	90
社内ディレクトリ	
Communications Manager Web ページから使用	125
使用法	99
終了、コールの、オプション	46
信号の強度	14
振動モード	
アイコン	32
設定	32

す

ステータス行、表示	29
ステータス データへのアクセス	131
スピーカ	
アイコン	78
スピーカフォン	
モード、使用法	77
スピーカ ボタン	24
スピード ダイアル	
Web から設定	117
オプション	61
回線表示	62
回線表示ラベル	117
電話帳の連絡先への割り当て	109
ファスト ダイアルの使用	62
ホット キー	61
ホット キーを使用したコールの発信	41
スピード ダイアル ホット キー	61
スピード ダイアル ホット キーの使用	41

せ

セキュリティ	
安全でないコールの確認	71
安全なコールの送受信	71
セキュリティのレベル	72
切断のオプション	46
設置、Cisco Unified Wireless IP Phone	7

そ

ソフトキー ボタン	
使用方法	29

ソフトキー ボタンのラベル **29**

た

ダイヤルのオプション **38, 41**

短縮ダイヤル機能 **117**

ち

着信履歴のレコード **97**

て

停電 **5**

ディレクトリ

Communications Manager Web ページから使
用 **125**

オプションの説明 **99**

社内

使用法 **99**

パーソナル

使用法 **100**

テキスト

特殊文字 **16, 25**

入力 **16**

編集 **16**

テキストの入力 **16**

テキストの編集 **16**

デスクトップ チャージャ

ケーブル ロック **18**

デスクトップチャージャのケーブルロック **18**

電源オン **14**

電源 / 終了ボタン **25**

電源装置 **5**

転送、コールの、オプション **50**

転送のオプション **49**

電話回線

説明 **33**

表示 **27**

電話機

スピーカ モード **78**

ハンドセット モード **77**

ロック セット **18**

電話機サービス

設定 **116**

電話機のステータス行アイコン **28**

電話機の付属品 **17**

電話機のボタン

説明 **23**

電話スクリーン

LED 表示の変更 **87**

アイコン **28**

アクティブ コール **33**

機能説明 **27**

クリーニング **37**

言語の変更 **87**

電話スクリーンの機能 **27**

バックライトオフの変更 **87**

表示の明るさの変更 **87**

メニュー **30**

電話帳、使用法 **104**

電話番号、表示 **27**

と

登録、電話機サービスの **121**

特殊文字、アクセス **16, 25**

トラブルシューティング、トラブルシューティングの日付 **129**

ハント グループからのログアウト **66**

ハンドセット
使用 **77**

な

ナビゲーション ボタン **25, 30**

に

認証されたコール **71**

ね

ネットワーク構成データへのアクセス **131**

ネットワーク プロファイル

表示 **92**

ロック **92**

は

パスワード

EAP の変更 **93**

設定 **15**

ネットワーク EAP **15**

パスワード、変更 **122**

発信、コールの、オプション **38, 41**

発信履歴のレコード **97**

バッテリー

安全上の注意 **4**

取り付け **7**

取り外し **7**

ハント グループ

ハント グループからのログアウト **66**

ひ

左ソフトキー設定 **87**

ふ

複数のコール、処理 **48**

不在履歴のレコード **97**

不審なコール、トレース **73**

復帰、使用 **46**

プライバシー

および共有回線 **67**

使用 **69**

へ

ヘッドセット

Bluetooth **78**

Bluetooth ワイヤレス **77**

外部デバイスの使用 **6**

使用 **17, 77**

注文 **18**

品質 **17**

ポート **24**

モード、使用法 **77**

有線 **77, 78**

呼出音の音量の選択 **84, 86**

ヘッドセットの仕様 **78**

ヘルスケア環境 **5**

ヘルプ	
アクセス	31
使用	31
目次	31

ほ

ボイス メッセージ	
アクセス	111
インジケータ	111
ショートカット	32
ボイス メッセージ インジケータ	
設定の変更	123
ホーム スクリーンの表示	29
保証	
ハードウェア	133
用語の説明	133
ボタン	
アプリケーション	26
応答 / 送信	26
音量	26
ショートカット	32
スピーカ	24, 78
選択	25
電源 / 終了	25
ナビゲーション	25, 30
左ソフトキー	26
右ソフトキー	24
ミュート	26
ボタンの選択	
使用方法	31
説明	25
保留	

およびコールの切り替え	48
および転送	49
使用	46

ま

マニュアル、アクセス	2
------------	----------

み

ミーティング会議	54, 57
ミュート、使用	47
ミュート ボタン	26

む

ワイヤレス ネットワーク データ	
検索	131

め

迷惑呼 ID (MCID)	73
メニュー	
項目へのアクセス	31
メインメニューへのアクセス	30
メニュー、使用方法	30

ゆ

ユーザ オプション Web ページ	
Cisco Unified CallManager	
アクセスと使用法	112
電話サービスへの登録	113

Cisco Unified Communications Manager

Cisco Unified Communications Manager を
使用した電話サービスへの登録 **121**

アクセスと使用方法 **115**

Communications Manager

デバイス設定ページ **115**

電話帳同期ツール **120**

PIN、変更 **122**

回線表示スピードダイヤル、設定 **117**

機能とサービスの設定 **116**

言語（地域）設定 **122**

パーソナル ディレクトリ、Web ページから使
用 **118**

パスワード、変更 **122**

ファストダイヤル、Web ページから設
定 **119**

優先順位付け、コールの **73**

有線ヘッドセット

アイコン **77**

使用法 **77**

ポート **77**

よ

呼出音

音量 **84, 86**

回線ごとに選択 **84, 86**

調整 **84, 86**

変更 **84, 86**

呼出音のパターン

音量ボタンで変更 **32**

設定の変更 **85**

り

リダイヤル **38**

履歴

削除 **97**

表示とダイヤル **97**

メニュー オプション **97**

れ

連絡先

スピードダイヤルの割り当て **109**

電話帳 **104**

連絡先の検索 **106**

ろ

ロック

電話機 **18**

わ

ワイヤレス ヘッドセット **78**

使用法 **77**

割り込み

および共有回線 **67**

およびプライバシー **69**

使用 **68**

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

© 2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社. All rights reserved.



The Bluetooth word mark and logo are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc., and any use of such marks by Cisco Systems, Inc., is under license.



CISCOTM

シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS 含む)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>